

からぼり川

がたろう通信

第 111 号

2022 年 8 月 20 日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者 : 垂水荘司 TEL 090-8050-5662 東村山市青葉町 2-24-59

ホームページ



ブログ



東村山市公園事業「指定管理者制度導入」の当会の取り組み 垂水 荘司

当会は発足以来、東村山市の委託事業を令和4年6月末まで受託してきた、市は令和4年7月1日より「指定管理者制度」を導入し昨年12月14日～12月20日に公募受付を行なった。令和4年1月13日にプレゼンテーションを実施し、その後指定管理者が決定された。当会は従来受託先であった東村山市・みどりと公園課から2カ所を受託してきた。

2022年5月11日、新制度で発足した東村山市、公園事業指定管理者との協議が行われ、内容は下記によります。

協議内容 1) 東村山市からは公園事業指定管理者 (H 社) に、市が従来委託の内容と同じ条件で「空堀川に清流を取り戻す会」に委託してほしい。

2) 当会として従来の作業委託条件で受託出来るかどうか? 5月14日総会及び定例会議で会員に諮った上で相談する旨、2者に伝えた。

当会は2022年5月14日の総会・定例会を開催し、公園事業の指定管理者制度の導入について諮り、参加者の賛同を得た。

2022年6月17日、2回目の市と公園事業指定管理者との協議が行われた。

1) 発注者は東村山市からH社に変わるだけで、「空堀川に清流を取戻す会」は同一条件で受託する事になる。

2) 賠償保険、傷害保険とも受託者(元請)である「空堀川に清流を取り戻す会」が以前と同様に負担する。

3) 契約期間は1年間とする、今年度は令和4年7月～令和5年3月31日となる。

以上市の説明

4) 作業が確定したら事前に連絡がほしい、実作業を見学したい。 H 社

5) 公園手入れ作業は従来通りの条件で了解したが、公園を利用したイベント等の活動は当会は全面的に協力する。公園活動については逐次研究していきたい。

6) 作業員は当会「空堀川に清流を取戻す会」会員の関連団体及び個人に依頼することも承願したい。

7) お互いに意思疎通を図り、実績を積み上げてゆく事をお願いしたい。

以上当会

今年も身近な水環境の全国一斉調査を行いました

平田 健一

全国一斉調査の一環として、空堀川の東村山市内 6 ヶ所+1 カ所で水質・水量の調査を行いました

調査方法

2022 年 6 月 5 日 (日) 10:00~12:30 島崎さん・垂水さん・分部さん・関岡さん・荒川さん・亀山さんと私の 7 名で行いました。皆さん、お疲れさまでした。調査地点は、東大和市境の上橋・浄水橋・ふれあい橋・御成橋・野行橋・清瀬市境の大沼田橋間約 6km と御成橋の JR 武蔵野線の湧水です。例年通り、pH, COD, NO₂-N, NH₄-N はパックテストで行いました。

調査結果

市内 6 ヶ所の内 3 ヶ所に水がありました。いつも測れている 3 ヶ所の結果の比較は次のとおりです。

項目	上橋 下流					浄水橋 下流					御成橋 下流				
年	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022
気温 (°C)	28.8	25.2	25.2	23.6	28.1	28.8	24.4	27.8	22.1	28.8	24.4	23.2	30.6	24.2	29.6
水温 (°C)	29.8	23.1	24.4	23.8	24.5	28.1	23.9	25.3	22.5	26.2	20.8	21.5	28.6	19.6	22.2
pH	9.5	9	8	8.5	8.5	9	9	8	9	9.5	8	8.5	8	8	9.5
EC (μS/cm)	1753	1060	434	1507	1098	1064	1013	384	1390	1110	395	320	269	353	344
COD (mg/L)	5.3	2	7	4	4.7	4	4	4	4	4	2	2	2	2	4
NO ₂ -N (mg/L)	0.005	0.005	0.01	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.055	0.05	0.05	0.1	0.005	0.005
NH ₄ -N (mg/L)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
透明度 (cm)	85	90	55	108	119	88	105	100	125	130	120	130	112	130	125
流速 (m/s)	0.14	0.5	0.3	0.39	0.17	0.31	0.33	0.143	0.21	0.26	0.36	0	0.22	0	0
流れ幅 (m)	1.2	2	3	5.1	4.1	0.4	2	3	4.8	3.8	2.5	0	4	7.3	5
平均水深 (m)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.03	0.05	0.1	0.13	0.2	0.04	0	0.11	0.1	0.2
流量 (m ³ /s)	0.020	0.100	0.093	0.184	0.070	0.004	0.030	0.043	0.130	0.198	0.030	0.000	0.095	0.000	0.000

赤字は、前年より悪化 青字は、前年より良化 COD は、3 回の平均。

・流量は、上橋では昨年よりかなり減っています。上橋・浄水橋までは水がありましたが、その下流は水がありません。御成橋は、JR 武蔵野線の湧水が出ているのでその辺りには水たまりがありましたが、昨年同様流速は測れず流量は測れませんでした。

・pH は、8.5~9.5 と相変わらず高いです。通常、魚が住める範囲を超えています。

・EC は、電気伝導率でイオンの多少を示します。昨年と比べると少し下がっていますが、上橋と浄水橋では 1000 を超えています。主な水源が工場の高度処理水なのでやむを得ない面はありますが、川としては異常に高いです。

・COD は、上橋と浄水橋 4.0 ですが、上橋は 4.7 でした。御成橋はだいたい 2 くらいだったのですが、4 になっています。魚が住める限界と言われている 5 以下にはなっています。

・透視度は、上橋と浄水橋は良くなっています。

まとめ

水の無い状態がずっと続いています。

会の名前の通り、**なんとか、水を！**取り戻したいですね。

上橋 昨年よりかなり水は減っています。



浄水橋下流 透視度測定。



ふれあい橋 水なし



野行橋 水なし



大沼田橋下流 水たまり状態



青葉小「空堀川学習」第3弾！！

荒川・友保

6月13日 絶好のイベント日和。

青葉小2年生67名がいつもの御成橋ワンドに集合。

先生方4名、当会とまちかど運動のサポートチーム10名、そして沿道の見学者10数名。

例によって「ワンド」「草むら」「川の生き物」について思いっきり体験学習を楽しんだ。

イベントの様子は写真とサポーターの感想でご覧ください。



まずは、活動ルールの説明！



ガサガサ さー！わくわく探検のはじまりです！

ミニミニ水族館の生き物に子供たちは大興奮です



スッポン

ウシガエル



島崎先生の熱血授業

テレビで放送されたクリーンアップのお話になり、秋山先生の登場に思わず乗り出す子供達。

「青葉小学校環境学習支援活動」に参加して (感想)

荒川 昭彦

昨年スタートした「青葉小環境学習支援活動」は、今年も秋山先生担任の新2年生対象に行なわれることになり、天候不良により1週遅れの6月13日に開催され、私も昨年同様「川の班」での子供たちの見守り・サポート役で参加しました。

当日は好天に恵まれ、昨日の雨で空堀川は適度の水量が流れ、体験学習には持って来いの環境となりましたが、主役の生徒達の到着が大幅に遅れ、体験学習の開始が予定より1時間遅れの10時となったのは想定外でした。

川班の魚・川の生き物獲りは、釣り名人による模範試技（ガサガサ）の見学後、生徒達は一斉にたも網を持ってガサガサを開始し、早速ドジョウやエビ等を獲り歓声上げ、喜ぶ子もいれば、模範試技を観ていないのか川の真ん中でたも網を掬っている子もおりガサガサの仕方をサポートしたりして私も楽しませて貰いました。時間短縮もあって、終了の合図にも名残惜しく川から上がり子供がおり、引き上げ説得に四苦八苦もしたが、それだけ川の生き物獲りが楽しかった証と云えなくもありません。

今回は残念ながら、体験学習時間が短くなり、生徒達は物足りなさを感じたのではと心配しましたが、仄聞するに秋山先生から「あの後の授業で感想文を書かせたら、どの子も一杯書き、こちらも時間オーバーだった」とのお話を知り、今回も学習の成果があったものと少し安堵しました。

一つ実質的な体験学習時間を増やす対策として、時間を要している2回の履物替えを、朝家から予め川用の履物を履いてくれば、履き替えは一度で済み時間の節約になると思います。出しゃばるようですが、当会から学校側に提案し検討いただいてはどうでしょうか。（早速先生方にお話しして検討して頂くことになりました）

私はこの「青葉小の環境学習支援活動」に昨年から毎回参加し、この活動が当会の事業活動の中でも極めて重要なものとの認識を新たにし、この活動を一時的なもので終わらせることなく、青葉小との連携を密にして永く継続発展をしていかなばとの想いを強くしている次第です。



教育支援は会場づくりから始まります



この靴の履き替えが時間かかる一大要因

広苑整備作業

原田 秀二

6月7～9日の作業は市との最後の契約作業で、整備作業範囲が比較的限定されています。

しかし雑草の力はすごい。春先に見た広苑の様子から“楽勝”かな!!と考えていた。今回は下草刈りを主眼に植込みの剪定は見送る。それにより下堀広苑、ふれあい広苑をそれぞれ1日で済ませ、3日目に刈取った草を積み置き、若干水分が抜けた草を軽トラに積み込み、それぞれの堆肥化の置き場に搬送しました。

梅雨に入る事を心配しましたが、天候に恵まれたが熱中症の心配がありました。作業に当たっては細心の注意をしながら進めましたが、カラーコーンのバーに貼ってある注意書きも読まず、苦情を言う人も出て来ましたが、ここは我慢です。

7月6～8, 11日は初めて日比谷アメニスとの仕事になりました。

下堀広苑、ふれあい広苑の作業になりますが、先月草刈りをしたばかりなので、ヘッジトリマーで植込みの木々の刈込を主にしますが、ここでも雑草の勢いを見せつけられます。予定外の植込みのきわに早くも刈込まねばならぬ程生えています。

最終日、ふれあい広苑で残りの刈込と枯れたクチナシの木を処分しましたが、その時、私がスズメバチに左手・人差し指を刺され、ご近所さんにスズメバチに気を付けるように話をすると、薬・キンカンを塗って頂き冷却材も頂き大事に至りませんでした。また、隣の人からは暑い最中にご苦労様、玄関脇の水道を

頼もしい新三銃士！

洗顔、手洗いにお使いくださいと、案内されました。感謝！
特筆は、友情応援で汗を流してくれた旨（むね）氏の活躍です。刈草の始末を先頭になって処理をされ、後半は機械まで扱う活躍です。

活躍では先月から大活躍の奥田氏を外す訳にはいきません。刈草処理から機械操作まで短期間にこなす能力には脱帽で、若さを感じずには居られませんでした。

高齢化に伴う、いろいろな問題点もありますが、作業の画一化を廃止、創意工夫をして作業を進めて行きましょう。



この
美しい
仕上がり！



軽トラも大活躍！

◇◇◇ 新入会員紹介 ◇◇◇

— お魚さん救出作戦に参加して —

片山 成竹

令和4年2月から東村山市に住み始めました。近所に川があることを知り散歩してみると水がほとんどなく、この川の水が豊かだいいのにと感じておりました。市の広報誌でクリーンアップの行事を知り4月に参加し、地元の自然環境を守る活動に興味を持ち入会しました。

7月には「お魚さん救出作戦」に参加し、雨が降っては流され、天気が続いて干上がってしまいそうな魚たちを網ですくって水の豊富な場所へ移すという活動を実施しました。この川にこれほど多くの小さなオイカワやエビが生息していることに驚きながら網で捕獲（救出）しましたが、先輩の皆さんはドジョウが身をひそめている居場所をつきとめたり、オイカワの中にまぎれた数少ないメダカを見つけ出すなどの技能を発揮しておられました。短い時間でしたが干上がる前の命を救えて、少しいいことをした気分です。今後も地道に活動に参加させていただきます。よろしくお願いします。



合計 1000 匹以上のお魚さんを、御成橋ワンドに放流しました。

— はじめまして —

奥田 哲

はじめまして、奥田と申します。6/7～定例草刈り作業からお手伝いさせて頂いております。

大学を卒業以来、約40年間ホテル業界で仕事をしてきました。

作業に参加した中で印象的な出来事がひとつ。青葉小学校の川の学習支援の準備作業のため、前日に空堀川の流れに立ち込んで、河原の石を使って仮堰を造っていた時のこと。突然黒雲が沸き起こり、雷が鳴り大粒の雨が降ってきました。一旦作業を中止し、車で上流の浄水場付近に移動して川を覗いて見ると、なんとそこには濁流が。慌てて元居た御成橋に戻って川を見ると、さっきまでの川が激しい濁流に！

その間、約30～40分。初めて身近な川で身の危険を感じた出来事でした。

地域の環境保全活動に少しでもお手伝い出来ればと思い参加しました。

今後とも宜しくお願い致します。



これまでの経過と今後の予定 (2022/5/3～2022/10/末)

- ◎4/28～5/7 鯉のぼり掲揚
- ◎5/3, 4 鯉のぼりフェア開催
(空堀川環境学習、笹舟、水鉄砲づくり等)
- ◎5/6 総会資料監査立ち会い
- ◎5/7 鯉のぼり広場、鯉のぼり片付け
第23回定期総会資料発行
- ◎5/11 東村山市公園事業「指定管理者制度」
(みどりと公園課、H社と協議)
- ◎5/14 2021(令和3)年度第23回定期総会
第276回定例会議
- ◎5/28 第4回理事会
(指定管理者収益活動に関わる指定管理者との協議について)
- ◎6/4 がたろう通信第110号発行
- ◎6/5 身近な水の一斉調査(環境デー)
環境学習支援の準備作業(御成橋周辺)
- ◎6/7 春の定例作業 下堀広苑
- ◎6/8 春の定例作業 ふれあい広苑
- ◎6/11 第277回定例会議
- ◎6/13 青葉小学校、学習支援
(空堀川 がさがさ、投網、生き物観察等)
- ◎6/17 東村山市公園事業「指定管理者制度」
(みどりと公園課、H社と協議)
- ◎7/6～11 定例作業(指定管理者制度)
下堀広苑、ふれあい広苑
- ◎7/9 第278回定例会議
- ◎7/14, 15 草刈り前の河道内チェック
上橋～大沼田橋
- ◎7/29 第5回理事会開催
- ◎8/20 がたろう通信第111号発行
- ◎8/27, 28 河原の楽校(川の生き物観察等)
まちかど運動との協賛で実施予定
- ◎9/10 第279回定例会議
- ◎9/～10/ 青葉小、学習支援予定
- ◎9/ まちかど運動実施予定(当会応援予定)
- ◎10/8 第280回定例会議
- ◎10/ 秋の定例作業 下堀、ふれあい広苑

会 員 募 集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000 円
年会費 2000 円

団体・法人の場合 : 入会金 一口 10000 円
年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要) : 個人年会費 2000 円

団体・法人年会費 10000 円

◎ 会費振込先：郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市青葉町 2-24-59

垂水 (たるみ)

TEL : 090-8050-5662

蜩の鳴く音に目蓋潤みをり
 からからと鳴る石となり敗戦日
 三尺寝猫の自堕落真似したる
 道行けば背中の中の殺氣酷暑かな
 生垣を絡めとつたり藪からし
 きつぱりと踏み出す勇氣百日紅
 噴煙を巻き込み雲の峰ふとる
 沸き出づる雲の向かうへ草矢打つ

あやとり句会

喜和 紀子 紫陽花 澄 索山子 雑木林 真 緑

からぼり川

がたろう通信

第 112 号

2022 年 11 月 25 日
発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者 : 垂水 荘司 TEL 090-8050-5662 東村山市青葉町 2-24-59

ホームページ



ブログ



コロナ禍での当会諸活動の 1 年

垂水 荘司

2022 年、当会がこの 1 年に活動した内容を振り返って見ますと、新型コロナウイルス禍の影響が多くあります。一向に収まる気配のない新型コロナウイルス禍は、昨冬流行の BA・1 と現在主流の BA・5 の 2 種類のオミクロン対応ワクチン接種が進められております。ワクチンの接種は第 3 回目が約 6 割に達し、4 回目は 3 割前後に推移しております。この冬にかけては第 8 波に備えたもので季節性インフルエンザとの同時流行が心配されています。当会の諸活動は上記を加味してのものとなりました。



4 月クリーンアップ JCOM の取材が入りました



5 月 鯉のぼりフェアは大盛況♪

◎1 月 21 日 空堀川御成橋脇ワンドの整備
空堀川上流高木橋脇よりアシ、ガマ、フイトを採取ワンド周囲に移植。

◎2 月 20 日、3 月 5 日、3 月 10 日 子どもの水辺樹木剪定作業の一環で、空堀上流の馬頭橋から浄水橋下流間に於いて実施した。この範囲は空堀川・子どもの水辺（WAKUWAKU 広場）協議会の一環です。目的は空堀川の水の流れを樹木、及び雑木が阻止するのを防ぐ為です。

- ◎4月16日、11月19日 空堀川クリーンアップ
上流は上橋から下流は大沼田橋間
市民と共に実施した、ただし一部「西武新宿線陸橋下部」から
「なかよし橋」間は事前に会員のみで実施した。
- ◎5月3日、5月5日 空堀川鯉のぼりフェア2022を開催
からぼり広場にて参加者両日併せて約400名の参加を確認した。
例年は5月最終日曜日に実施されていた「空堀川川まつり」は
コロナ禍の為に中止に至り、5月初旬に代替えとして開催した。
- ◎6月5日 身近な水環境の全国一斉調査の実施
上流は上橋、下流は大沼田橋間6カ所を選んで実施した。
PHは8.5～9.5で高め、ECは1,098～1,110 μ S/cm非常に高めでした。
- ◎6月6日、6月13日、9月27日、10月21日 青葉小学校学習支援活動
複数回開催
2年生、5年生別々に御成橋ワンド周辺にて実施
空堀川の生き立ち、生き物、魚、植物の観察等
川の中ではがさがさ、投網、水鉄砲の体験等を行った。
- ◎6月7日、8日 春の定例作業
下堀広苑、ふれあい広苑 東村山市委託最後の作業。
- ◎7月6日～11日 定例作業。
下堀広苑、ふれあい広苑 指定管理者制度初の作業。
- ◎8月27日 かわらの楽校
空堀川周辺住民を対象に浄水橋にてがさがさ、投網体験。
- ◎8月28日 かわらの楽校
御成橋、ワンド周辺にてがさがさ、投網、水鉄砲、笹舟作り、スイカ
割り等、市民の大人、子どもを交えて会員と共に実施した。
両日とも「当会」と「まちかど運動の会」との協賛で実施した。
- ◎10月3日～5日 8日、9日 秋の定例作業
下堀、ふれあい広苑指定管理者委託事業。
- ◎11月29日～12月4日 エコライフフェア2022
東村山中央公民館で開催。「まちかど運動の会」も別枠で出展。
- 会議体
定例会議は8月を除く第2土曜日に月1回開催、5月に定期総会(年1回)
その他理事会の開催(年5回)。
- がたろう通信 年4回発行。

以上が1年間の活動です、新しい年にはコロナ禍、及びインフルエンザが沈
静化してほしいものですが、皆様方のワクチン接種の効果が有りますようお願い
しております。

今後とも会員のみなさまの活発なご意見とご活動を期待しております。

青葉小

5年 環境学習の一環としての空堀川探検

亀山 草太

「関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解すること。」

いきなり、硬い文の引用からはじまって恐縮ですが、上の文は文部科学省が示す「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編」に掲載されている文言であり、今回の学習単元の核となっている内容です。3学期に使用する教科書の該当ページには、四大公害病の事例などが、年表やグラフなどの様々な資料とともに掲載されており、なかなか学び応えのある内容です。タブレット端末を活用すれば、さらに多くの情報を手に入れることもできそうです。

しかしながら「百聞は一見にしかず」どんな優れた情報も「本物」にはかないません。そして、この街には空堀川が在り、がたろうさんが居る…！！これが、私が今回「ぜひ、5年生にも学習支援を！」と熱烈なオファーを送った理由でした。

天候不順による二度の延期に泣きながらも、三度目の正直で迎えた秋晴れの10月21日。子どもたちは、事前のねらい以上の得難い経験をさせてもらいました。

川の中では、大人も子どももありません。「何かいる！」「何々！？」と、自然に関わりが生まれます。大物がかかれば、師匠（がたろうさん）にも見せたくくなります。

また、生き物さがしは、まさに生き物たちとの知恵比べ。「なぜガサガサで獲れる？」「根っこに隠れているんじゃないかな。」「石の裏にもたくさんいる！」体全体で、「命」と対話をしているようでした。

マイクロプラスチックや特定外来種についてのお話も、あの場で聞くことで「何となく」のイメージとは随分ちがっていた子も多かったようです。

話を聞き、実物を観察し、命と大いに戯れた一時。この5年生たちが3学期に改めて教科書を開いたとき、「様々な努力をした地域の人々」も「改善された生活環境」も、ただの言葉ではなく、輪郭や温もりのあるものになっているのではないかな、と期待しています。



まずは、空堀川の歴史から



カメに触ったよ！



待ってましたのガサガサ♪

青葉小 秋の学習支援報告

島崎 よう子

昨年に続き青葉小からの学習支援の依頼がありました。1つは、昨年と同じ2年生（次号にて報告します）。

もう1つは5年生。5年生は社会科の学習でテーマは「環境を守る活動」5年生に私たちはちゃんと応えられる授業ができるか、と武者震い?! 亀山先生が事前学習で使ったパワーポイントをがたろうの仲間たちとおさらいして、学習の目的を確認しました。

① 空堀川の歴史

② マイクロプラスチックと空堀川の関係

③ 空堀川にはどんな生き物がいる?

この3つの話をする事で準備を始めました。

そして、当日の様子は亀山先生が書いて下さっていますが、私たちは、2年生とは違う5年生パワーに圧倒されました。

後日、80人の子どもたちが感想を綴った「がたろうさんへ」というファイルを戴きました。

「空堀川で遊べるようにしてくれたのはがたろうさんのみなさんのおかげだとはじめて知りました。」

「空堀川が海につながっていることがとても印象に残りました。」

「今日の授業でもっと川遊びが好きになった」

「印象に残ったのは水の色です。ピンク色はきれいな水で、青みどりはきけんでしたよね」

「ごみをへらすこと。そしてがたろうさんたちの取り組みをいろんな人に伝えていきたいです」

「プラスチックごみのことを聞いて、ごみ拾いに積極的に参加したり、個人的にごみを拾ったりしようと思います。」

「空堀川の大切さや楽しさを教えてくれてほんとにありがとうございました」

「ザリガニをつかまえたときは「オー」とうれしかったです」

そこからは、子どもたちの吸収力、学ぶ力がひしひしと伝わってきて感動しました。もちろん、あの日1日だけではなく事前学習や日頃の積み重ねが実ったことだと思います。子どもたちと一緒に学べる機会を作ってくださった先生たちに感謝申し上げます。



水質検査パックテストの講習中

がたろう会員のマイクロプラスチック講座



《青葉小学習支援 アルバム》



朝も早くから投網でお魚とりです。
これが大事な教育支援の準備作業です



空堀川ミニミニ水族館の出来上がり！



空堀川で見つかった困った生き物

外来種の**ミシシippアカミミガメ**



高級なエサにつられて捕獲された2匹
外来駆除の罠にかかっていました

空堀川でのミシシippアカミミガメの
特定外来種の駆除活動を始めました。

***** かわらの楽校 ***** 島崎 よう子

子どもたちに遊べる川を残したい。水が流れ、葦など野草が茂り、とんぼやバッタが飛び交い、オイカワ、メダカ、エビがいる。そんな自然環境あふれる川を作りたいと思っています。今の空堀川は、雨が降らないと瀬切れを起こすという大きな課題を抱えているもののそれほど悪くはありません。ですから、子どもたちに空堀川に親しんでもらいたい。そのためのチャンスを大事にしたいと考えています。

というわけで、夏には「かわらの楽校」を当会とまちかど運動の共催で今年も開催しました。当日朝、準備の頃は本降りでしたが、雨合羽着てやる気満々の皆さんが集まりました。そして、始まると雨はやみ終わるまでは曇天へ。

水鉄砲準備をする昔の子供たち



お父さん ほんとに初めてですか
才能アリです！！



当会の名物 投網体験！

楽しいスイカ割り♪



秋の広苑整備作業

原田 秀二

市の委託事業から日比谷アメニスに広苑整備事業が一元化されて二回目の作業になりました。

作業は10月3日より7日までの予定で行われるはずでしたが、6日、7日と冷たい雨が降り中止。8日、9日を予備日として急遽追加しました。3日はW氏の姉、兄のお二方が早朝に神奈川県の実家を出発し、9時の作業に間に合うように、購入したばかりの手押・耕運機型草刈り機をトラックに積み込み作業に参加・応援してくれました。草刈りの丈の調整は5cmとして「下堀広苑」下流側から上流側、午後からは「ふれあい広苑」の広場を草刈りして頂きました。

更に応援者は、仕事キッチリで陽気なN氏（通称:ムネさん）も6月の作業に続き3日と8、9日に「…の恵」代表？として参加・応援して下さいました。

5日は気温も低く時々小雨から3時ごろより雨粒も大きくなり、作業終了の時刻でも刈草の整理が付きませんでした。

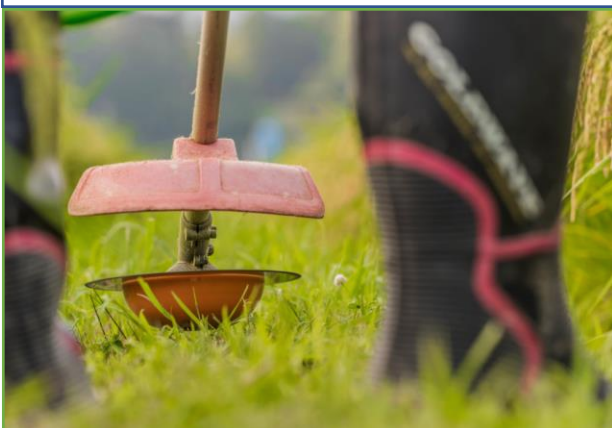
全体を通して、入会して間もないですが若さ潑刺のO氏、仕事の都合で平日の参加は出来ませんでした。土曜参加のK氏も加わり、雨に濡れ重くなった刈草を軽トラに工夫した乗せ方（ミルフィーユからバームクーヘン型）で堆肥化置き場に搬送出来ました。

さらに8、9日はベテランのK・ヒサオ氏と、W氏の奥様も刈り草の処理、フェンスの蔓取りなどご協力頂きました。

人数的にはある程度の人たちのご協力を頂きましたが、以前に比べ全体的にかなり時間オーバーしていると思います。最近ではW氏の軽トラで刈草を運んでいますが、それ以前はブルーシートや大型プラボックスカートで刈草を運搬していた事を考えるとかなり合理化されてきています。それでも時短にならない、こうした原因なども検証してゆく事も必要かと思っています。

今回は最近注目されている「高草刈り」方式のやり方を一部試験的に実施しました。現在使用しているブレード型草刈り機に高刈り用スパーサーを装着し「広葉雑草の生長点を残し、イネ科雑草の繁茂を抑制する」と言う方法です。

高刈り用スパーサーを装着！



新しい♪ 手押・耕運機型草刈り機



これも継続して観察し、その成果を検証する必要があるとともに、作業のやりずらさ、仕上り見目の悪さなど、合わせて作業方法も改良する事が必要と思います。

作業の中心メンバーもそろそろ若手の方々と交替の時が来たことを感じずには居られませんでした。

尚、土曜、日曜日は管理通路を散歩など利用する方が多く、安全のため機械作業は避けた方が良く感じました。そうした中、嬉しい事に「有難う…」「ご苦勞様…」と声をかけてくださる方も増えました。

また10月8日の定例会を整備作業延長で急遽変更をお願いし、会員の皆様にご迷惑をお掛け致しました。



頑張ってくれた皆さんと軽トラ君

広苑整備作業に初参加

片山 成竹

平日は仕事のため参加できないのですが、今回、雨の影響で作業が長引き土日にも行うことになったため、ふれあい広苑の整備作業に初めて参加しました。主に担当したのは、川のフェンスのツルの除去、刈った草の軽トラックへの積み込み、荷下ろし、です。刈草は雨で湿っていたため見た目以上に重く、日頃なまっている体にはなかなか大変な作業でした。しかし、土日ということで人通りが多く、ご苦勞様です、と声掛けしてくれる方もいらっしやって、ちょっとうれしくなりました。今回は気候の良い日でしたが、これを雨の日も暑い季節にもこなしている先輩会員の皆様のご苦勞がよく分かりました。今後でもできるだけ参加して、戦力になれるようスキルアップを目指します。

***** 編集後記 *****

小川 恭子

今年は、広苑整備作業中に、スズメバチの巣が3個も見つかりました。茂っている葉の陰で目立たないことが多いので、気を付けて空堀川散策をしてください。

アナフィラキシー症状が出たら救急車のお世話になることになります。

失敗談ですが、私は子供のころミツバチに腿を刺されたことがあります。なぜ刺されたかということ、取り込まれたばかりのたたまれていない洗濯物の中から自分の下着を探し出してお風呂に持っていったからです。風呂上がりにとっても痛い思いをしました。

みなさん、洗濯物は、必ず畳んでから身につけましょう！



スズメバチの巣

これまでの経過と今後の予定 (2022/7/6～2023/2/末)

- ◎7/6～8/11 下堀、ふれあい広苑整備作業
指定管理者制度後の初作業
- ◎7/15 空堀川草刈り事前調査
上橋～大沼田橋間
- ◎7/29 第5回理事会開催
- ◎8/24 がたろう通信第 111 号発行 (600 部)
- ◎8/27 かわらの楽校
空堀川浄水橋周辺にて開催
- ◎8/28 かわらの楽校
空堀川御成橋周辺にて開催
- ◎9/10 第 279 回 定例会議
- ◎9/27 青葉小学校学習支援活動、2 年生対象
空堀川御成橋ワンド周り 10:00～12:00
(生き物観察、がさがさ、投網 水鉄砲体験)
- ◎10/3,4 日 秋の定例作業 下堀広苑
- ◎10/3,4,5,8,9 秋の定例作業 ふれあい広苑
- ◎10/15 第 280 回 定例会議
- ◎10/21 青葉小学校学習支援活動、5 年生対象
空堀川御成橋ワンド周り 11:00～12:30(空堀川の
水質調査、生き物観察、がさがさ体験等)
- ◎10/29 空堀川に清流を取り戻す会
会計担当引き継ぎ会議
- ◎11/12 第 281 回 定例会議
- ◎11/12 空堀川事前クリーンアップ
(定例会終了後)西武新宿線陸橋下部
～なかよし橋間
- 11月～12月 子どもの水辺樹木剪定作業予定
- 11/19 第 51 回 空堀川クリーンアップ
第 1 会場、第 2 会場に分れて実施予定
- 11/25 がたろう通信第 112 号発行 (600 部)
- 11/29～12/4 エコライフフェア2022
東村山市中央公民館開催予定
- 12/10 第 282 回 定例会議 予定
- 12/ 忘年会 コロナ禍のため中止とする
- 2023/1/14 第 283 回 定例会議予定
- 2023/2/11 第 284 回 定例会議予定

会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加してくださる方を募っています。 NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000 円
年会費 2000 円

団体・法人の場合 : 入会金 一口 10000 円
年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要) : 個人年会費 2000 円
団体・法人年会費 10000 円

◎会費振込先 : 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市青葉町 2-24-59

垂水 (たるみ)

TEL : 090-8050-5662

枯蓮の池のぷくりと呼吸する	朝霧や行き交ふ人はモノトーン	白菜や巻くも巻かぬもどつしりと	秋没日川面に落ちて滾りけり	丸々とたちうちできぬ甘藷かな	柊の花の香辿りとんぼ池	大胆に間引き菜せよと教へられ	虚空まで省略のなし鱗雲
真	雑木林	紫山子	澄	紫陽花	紀子	緑	喜和

あやとり句会

からぼり川

がたろう通信

第 113 号

2023 年 1 月 21 日
発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者 : 垂水 荘司 TEL 090-8050-5662 東村山市青葉町 2-24-59

ホームページ



ブログ



新年を迎えて

垂水 荘司

皆様 明けましておめでとうございます。

平穏無事を望んで新年を迎えた事と思います。皆様の気持ちを逆なでするような長きにわたりロシアが侵攻するウクライナへの大規模攻撃、中国は軍事力を急速に強化し、力による現状変更もいとわない力の誇示。これに「抑止力」になる安保政策に大転換する日本、何ともきな臭い世相が周辺国を取り巻いている昨今です。

当会の活動もコロナ対策を考慮しつつ、空堀川を取りまく自然環境の創設と地域の発展に寄与し、活力ある街づくりに貢献すべく活動を目指して参ります。昨年は一部の学校をターゲットにした学習支援活動を実施させて頂きました。子ども達は空堀川の説明に関心を持ち、自分たちで魚を捕って感激しそれぞれ後日感想を書いて送って頂きました。現在の子供達は自然に戯れる機会が少ないように思います。

近郊の広場や公園等も少ないのですがボール投げ禁止、河川での遊びも父兄の付き添いが必要、勝手気ままに過ごした昔の子ども達とは生活環境の違いがなせる様でしょうか。例年 5 月末に開催する川まつりは新年度は開催できるのかどうか、地域でも夏祭り、盆踊り等（昨年は中止）のイベント開催が可能なのか？すべてコロナ対策にかかっております。安心安全な環境が整い次第当会も活動を開催しますので皆様の参加を会員一同お待ち申しあげております。



作業後 2022-11-5

カヌーピクトープ



2023 年 空堀川からの初日の出



青葉小学習支援

第51回空堀川秋のクリーンアップ

友保 邦弘

2019年の第45回空堀川秋のクリーンアップが一般市民に呼び掛けて行った最後のクリーンアップでした。以来丸3年、4回にわたってコロナ禍のため会員のみにて実施してきたが、昨年11月、少しコロナ対応にゆるみが出てきた世間の風潮のもとに久しぶりに市民参加方式で第51回クリーンアップを実施した。



第1会場総勢32名



第2会場総勢69名

●今回はコロナの第8波が危ぶまれるさなかのイベントではありましたが、早くから企画し一般市民の参加を決めていたので、検温、消毒、名簿作成など十分の対策を取って実施した。

●会員以外では、森永乳業東京多摩工場から30名の大軍団が差し入れの飲み物持参で参加された。総務・人事を経験した当会の会員が「これほどモラルの高い会社を知らない」と感嘆していた。

市内の有力なボランティア団体である「青葉安心ネット」及び「青葉小の子どもたち」からも大勢の協力をいただきました。

さらに青葉小の先生方や生徒さんが参加されて大活躍。積み重ねた勉強会の成果が実証された。

以下参加者内訳です。

参加者	一般	企業	行政	当会	その他	合計	備考	区間
第1会場	10	15		7		32		上橋～ 西武新宿線
第2会場	13	15	3	10	小学生26	69	子ども2	ふれあい橋～ 大沼田橋
合計	23	30	3	17	26	101	2	

●第1会場は上流部、下流部、および倉庫保管ゴミの処理の3班に分かれ、最後に約30名で分別作業を行い、12時に市の道路河川課のトラックで収集を完了した。

●第2会場は大沼田橋～秋津南橋、秋津南橋～下堀橋、下堀橋～なかよし橋の3班に別れ下流部の2班には青葉安心ネットのメンバーと青葉小の子供たちや先生方が加わり、上流班には森永乳業のメンバーが加わった。

今回は第2会場も参加者にゴミ問題の理解を深めてもらう目的で第1会場と同様に6種類の分別方式を採用し、12時過ぎに北北健の指定業者に収集してもらった。

●今回も前回同様に「まちかど運動」の支援で軽トラがフル回転。第1会場と第2会場の分散集積したゴミを最終集積場まで運搬してもらった。また大量の「緊急避難食料」を提供いただいた。

●ゴミの種類

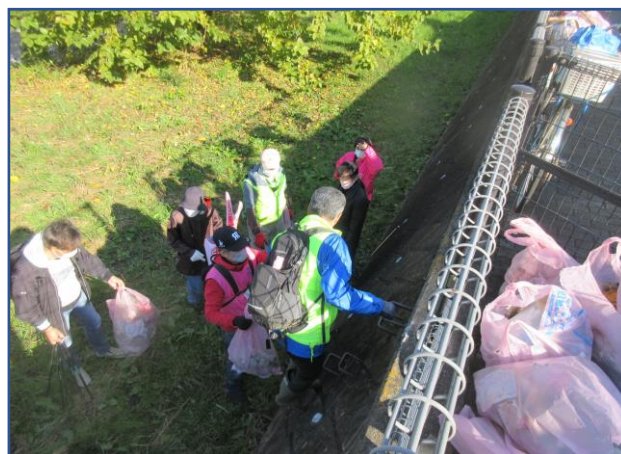
ゴミ	可燃	不燃	ビン	カン	ペット	自転車	その他
第1会場	19	3	1	1	1		傘6、鉄屑
第2会場	24	23	2	3	1	2	傘10、漬物石1 自転車タイヤ1
合計	43	26	3	4	2	2	(子供に見せられないもの)

↳自転車は北北健へ連絡

注：ゴミは400袋とボランティア袋2種類



さあ、集めたゴミの分別開始！



まだまだあります、たくさんのゴミ拾いました。

●まとめ

ゴミ回収を東京都に依頼してきた下流部（第二会場）のゴミは今回から第一会場と同様に6種類に分別する方式を採用した。一般市民に川に捨てられたゴミの状況を詳しく知っていただく狙いでした。特に今回留意した点は、ゴミを拾うことは大事であるが、市民の皆様に空堀川に関心を深めていただき、当会の活動に参加してもらうようPRすることでした。次回からも更に強力にPR活動を推し進めて会員を増やし、会の体制を強化する必要を痛感した。

東村山市 エコライフ・フェア 2022 に参加しました

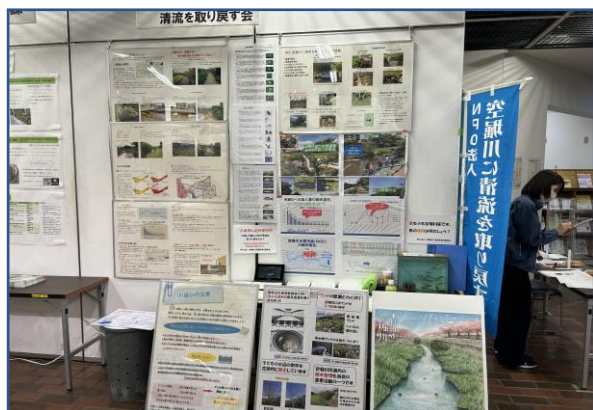
平田 健一

2022年11月29日(火)～12月4日(日)に東村山市中央公民館で開かれた東村山市環境保全課 主催のエコライフ・フェアに参加しました。これは、従来の環境フェアとリサイクルフェアを合体したものです。名称はこれでいいのか？という疑問もありますが、市民に環境全体を考えていただくということになると思います。

市民団体は、当会・北川かっぱの会・東村山エナジー、ガイガー東村山&ガイウェイ東村山、東村山花と野菜の会、とんぼサポーター2、美住リサイクルショップ運営委員会、まちかど運動実行委員会、キンランの咲く雑木林を守る会です。その他に、東京ガスネットワーク㈱、東村山市環境整備事業共同組合、西都保健生活共同組合東村山協議会、東多摩資源化事業協同組合と東村山市環境保全課、ごみ減量推進課でした。

当会会員は、交代で説明しました。お疲れ様でした。

空堀川の水枯れの現状と原因・対策、水質調査と放射線量の測定結果のA1のパネル6枚に当会の活動、川遊びの注意、空堀川の絵のパネル3枚を展示しました。空堀川の魚（オイカワ・モツゴ・メダカ・ドジョウ・アメリカザリガニ・エビ）も展示しました。今回は、下水道課が参加しなかったので、浸透マスの現物は市内の建材会社の協力で展示しました。



＜ワークショップの開催＞

今回は、初めて「空堀川ってこんな川」と題して2階の美術工芸室でワークショップを行いました。

参加者は、定員12名に対して残念ながら12月3日が5名（ご家族3名、小学生1名、男性1名）、4日が2名（小学生1名、女性1名）でした。その分、一人ひとりにお聞きすることができました。

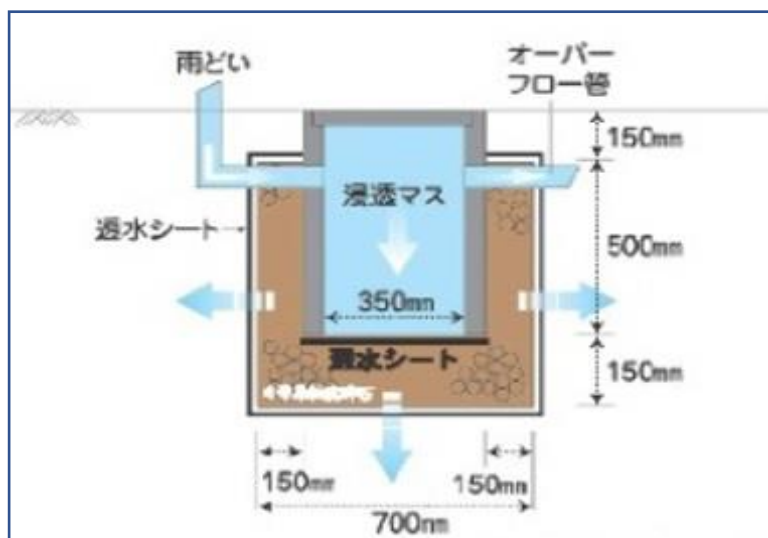
内容は、空堀川はどこからどこまで、長さは、深さは、水源は、普段と洪水時の水量は、水質は、生き物・植物はどんなものが？です。水質では、当会が行っているパックテストでCODを測るところを見ていただきました。29日に定員12名に対して応募が少ないことが分かったので、私個人のFBでも参加を呼びかけたのですが、少なかったです。次回は広報の仕方を考えないといけないと思いました。

3日はプロジェクターで写真を見ていただきながら説明しました。4日は、プロジェクターが不調で口頭での説明になりました。事前に確認はしていたのですが、原因は不明です。



ワークショップ（空堀川ってこんな川）

<浸透マス>



浸透マスは左のような構造で、浸透マスの周りに砕石を入れ、その外側を透水シートで巻きます。最近ではプラスチック製の円形の物が多いです。これは排水管の位置がどの方向から来ても現場で穴を開けられるので施工がやりやすいです。一軒の家に数箇所設置します。東村山市では、平成9年から助成金制度があり、地域により75%から90%の助成金が受けられます。

これが普及すると、降った雨が一度に川に流れず、地下に浸透して地下水になり、ゆっくり川に出てくるようになります。

洪水が起こらない、いつも水が流れる川になるのです。

東村山市は、市の面積の55%が宅地+道路15%=70%が地面に水が染み込まない不浸透面になっています。これが普段空堀川に水が流れない原因です。

小金井市は、50%以上の宅地に浸透マスが設置されていて湧水が保全されています。東村山市も、そのようにすればもっと安全な・楽しい街になると思います。



これが話題の【浸透マス】

今回は、記名なされた来場者が市民の方37名、東村山市議3名、武蔵村山市議1名、当会会員延べ20名、合計61名でした。次回はもっと多くの方に来ていただき、空堀川と当会の活動を知っていただきたいと思います。

青葉小

2年 学校教育と地域学習の可能性

東村山市立青葉小学校
教諭 秋山 学

青葉小学校の2年生では、生活科「もっと知りたいたんけんたい（町たんけん）」で空堀川について調べる学習をしている。『空堀川に清流を取り戻す会』の方々の協力を得ながら、空堀川について、知る（見る・聞く）学習をしたり、体験する活動をしたりしてきた。そして、その学習を経て、子どもたちが何を考えて取り組んできたのかを紹介したいと思う。

【6月 空堀川を「知る」学習】

○活動記録

活動のめあては、空堀川について知ること。1学級ごと交代で知る活動と体験活動を行った。知る活動では、水中生物や川沿いの野花について話を聞いたり、実際に見たりした。体験学習では、網を持ってどんな生き物が川の中にいるのか探した。半数近くの子どもが川で遊んだ経験がないので、水中生物に触れることに感動していたように思う。

○子どもの学びと思い（一部抜粋）

- ・からぼり川に生きものがこんなにいると思わなかったです。
- ・川あそびが楽しすぎて、またかぞくで行きたいと思いました。
- ・川のおせわをしている人がいるなんて知らなかったです。



【9月 空堀川での体験活動】

○活動記録

活動のめあては、水中生物を捕まえること。6月の活動を通して、「ヌマエビを育ててみたい」という子どもの思いがあり、実現させることになった。子どもたちの網さばきは前回よりも上達していて、多くのヌマエビを捕まえることができた。しかも、他にザリガニやドジョウなどの水中生物も見付けることができた。おまけの活動として、竹の水鉄砲で遊ぶ活動が用意されており、子どもたちに大人気だった。

○子どもの学びと思い（一部抜粋）

- ・ヌマエビがあんなに大りょうにとれるなんて思わなかったです。
- ・ほかにどんな生きものがいるのか知りたくなりました。
- ・竹で水でっぽうが作れるなんて知らなかったし、とても楽しかったです。



【学校教育と地域学習の可能性】

青葉小学校の周りには、多くの自然があり、その自然を大切にしようとして働きかけてくれる方々がいる。子どもたちは地域の方々と協力しながら、自分が育った地域に愛着をもてるようになってくればと思う。また、地域に着目することで、地域の良さや課題にも気付くと思う。私は学校教育を通して、地域の良さを発信したり、課題について解決するにはどうすれば良いのかを考え働きかけたりして、子どもたちに社会参画する力を養っていききたいと思う。

「子供たちの心に清流を」と「持続的清流復帰を」 分部 光春

新年あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。

昨年はNPOの活動も、世の中のコロナ禍から立ち上がり、経済活動が活発になりだしたのと同様に、ジェイコム取材のCU、鯉のぼりフェア、青葉小の学習支援の充実、定例作業の機械化、他団体との共催行事の活発化。そして委託業務の会計処理より端を発した、会計担当者の交代などで新規理事の選任の機運が高まり、定例作業や、トイレ掃除、機関誌発行、などの委託業務会計の見直しなども進みました。また、久々の若目？の新規会員さんの加入で多少平均年齢も下がり、体力的活動が活発化して来た事は大変に喜ばしい限りです。この勢いで今年も頑張りたいと思いますが、わくわく広場の樹木剪定や小彼岸桜並木の管理責任、ワンドの管理に高齢化による戦力ダウンが感じられ、コレからの事業継続問題に不安を感じましたので、しっかり審議して行きたいと思います。

そこで今年は新規会員の獲得を計り、理事会の体制を新規理事の就任により、しっかり固め、他人任せの無しの礎でなく、しっかり自分達で出来る事からやって行きたいと思います。具体的に、COP15や30バイ30での生物多様性を保全する目的で、「持続的な利用」を目的とした活動として、空堀川の健全な植生保護や生物保護が大切という事で、私達がやっている子供達のかわらの楽校やメダカの増殖、お魚救援隊、等々の生き物保護活動と当然それに伴って物理的清流復活作戦もクラウドファンディングで並行して行かなくてはと思っています。手始めに地域の皆様に、子供達との交流事業の声掛けを始めています。

今年のモットーとして「まず心に清流を、子供たちを味方にして、持続的な清流復帰は、クラウドファンディングで」なんて事で10年20年先の空堀川に清流が取り戻せるように今年の初夢を見て、皆さんで頑張ってください。

「子供たちの心に清流を」と「持続的清流復帰を」目指す分部でした。



ワンドの維持も体力的に大変で返上も頭に浮かびますが、右手にスコップ左手に缶ビールで頑張ります



川原に特化した鯉のぼりフェアや子供たちのかわらの楽校は将来の子供たちに期待して辞められません。

これまでの経過と今後の予定 (2022 年 10/3～2023 年 2/末)

- ◎10/3,4 秋の定例作業 下堀広苑
- ◎10/3,4,5,8,9 秋の定例作業 ふれあい広苑
- ◎10/15 第 280 回定例会議
東村山市社会福祉センター以後同じ
- ◎10/21 青葉小学校学習支援活動、5 年生対象
空堀川御成橋ワンド周りにて
空堀川の水質調査、生き物観察、
がさがさ体験等
- ◎10/29 空堀川に清流を取り戻す会
会計担当者引き継ぎ会議
- ◎11/12 第 281 回定例会議
- ◎11/12 空堀川事前クリーンアップ
(定例会議終了後)西武新宿線陸橋下部
～なかよし橋間 立て看板作成取り付け
- ◎11/19 第 51 回 空堀川クリーンアップ
第1会場:上橋～西武新宿線陸橋下部間
第2会場:なかよし橋～大沼田橋間
- ◎11/20 桜通り一部クリーンアップ
まちかど運動と協賛
同時に遊歩道花壇植栽及び手入れ
- ◎11/24 子どもの水辺樹木剪定(ゾーン B)
- ◎11/25 がたろう通信第 112 号発行(600 部)
- ◎11/29～12/4 エコライフフェア
12/3,4 ワークショップ
中央公民館にて
- ◎12/7 子どもの水辺樹木剪定(ゾーン C)
- ◎12/10 第 5 回理事会開催
- ◎12/10 第 282 回定例会議
- ◎12/21 子どもの水辺樹木剪定(ゾーン D)
美住広苑トイレ脇四つ目垣根修理
- ◎12/25 桜通り・空堀川の一部クリーンアップ
まちかど運動と協賛で開催
(2023 年)
- ◎1/14 第 283 回定例会議
- ◎1/21 がたろう通信第 113 号発行(600 部)
- 2/11 第 284 回定例会議 10:00～12:00 予定

会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加してくださる方を募っています。 NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000 円
年会費 2000 円

団体・法人の場合: 入会金 一口 10000 円
年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要): 個人年会費 2000 円
団体・法人年会費 10000 円

◎会費振込先: 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市青葉町 2-24-59

垂水 (たるみ)

TEL : 090-8050-5662

川の幅を知らず凍蝶のりだすか	解体の角の一群水仙花	冬の川片足立ちの鳥一羽	川涸れて鴉の騒ぐ水溜り	冬枯れの空堀川の底白し	冬木立石の卓には石の椅子	メタセコイアの裸木青を突き刺して	木の葉踏む音も匂ひも冬日向
喜和	真	緑	紀子	紫陽花	澄	案山子	雑木林

あやとり句会

からぼり川

がたろう通信

第 114 号

2023 年 6 月 1 日
発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者 : 垂水 荘司 TEL 090-8050-5662 東村山市青葉町 2-24-59

ホームページ



ブログ



新年度の実践活動事業、活動し始めた行事 垂水 荘司

新年度の実践活動として4月15日予定の春の空堀川クリーンアップは天候の都合で16日の実施に成りました、当初多くの市民の方々を予定しておりましたが1日延期したにも関わらず一般市民、小学生など多くの方々の参加が有り無事終わりました。

空堀川クリーンアップは春(4月)と秋(11月)2回行われていますが東京都北多摩北部建設事務所の草刈りの時期とタイミングが合わない、クリーンアップの効果は期待できません。今後も東京都北多摩北部建設事務所と協議した活動にしていきます。

今年もゴールデンウィークが過ぎ周辺の草、花が一斉に咲きほこり、すがすがしい季節を迎えました。5月3日、5日の2日間には「第2回鯉のぼりフェア」を開催しました。

4月28日から5月10日まで鯉のぼりを掲揚し、他のイベントと併せて2日間通して約500人の多くの周辺住民の方々が好天の下で十分楽しまれた事と思います。

新型コロナ禍で当会等が例年開催(第21回)していた空堀川川まつりは2020年から開催を中止しておます。次年度からはコロナ禍が落ち着き以前の様な賑わいのある川まつりが開催できる環境が整えられるよう期待しております。



第52回 空堀川春のクリーンアップ



第2回 空堀川鯉のぼりフェア

第52回空堀川春のクリーンアップ

4月15日(土)開催予定が強降雨より、16日(日)に順延開催した活動でした。森永乳業(株)高山マネージャーが来訪され、ご挨拶と清涼飲料水の提供を受けました。



第一会場の皆さん

朝礼にて当催事の歴史、活動趣旨および活動要領を説明し、空堀川の里山風景と春の息吹を感じながら安全・安心を旨とした美化活動励行を要請し、会員の自己紹介挨拶を行い終えた後に集合写真を撮りました。

参加された市民の一人、S・K様(廻田町)は第36回(2015年・平成27年4月開催)を初参加に、今回で5回目の参加者で当会の活動趣意の深い理解者と推察されます。他の参加市民は全て初参加者でした。(報告：岡田一郎)



第二会場の皆さん

今回のクリーンアップはゴミ拾いだけでなく自然の観察が十分できた事、また長靴忘れたお母さんが進んで管理道路のゴミを拾ってくれたこと、そして通りがかりの皆さんがイロイロ声をかけてくれたこと。

今回のクリーンアップはいつもの空堀川でない姿が見えて大変ためになったイベントでした。ゴミはあまり拾えなかったが子供達には色々な発見があり勉強になったクリーンアップでした。

(報告：分部光春)

第52回空堀川春のクリーンアップ報告書

参加者	一 般	企 業	行 政	当 会	その他	合 計	備 考	区 間
第一会場	大人6名	1 名	3 名	5 名	小学生 1 名	17 名	幼児1名 含む	上橋～西 武線陸橋
第二会場	大人8名	0 名	0 名	10 名	小学生 6 名	26 名	幼児2名 含む	御成橋～ 大沼田橋
合 計	大人14名	1 名	3 名	15 名	小学生 7 名	43 名	幼児3名 含む	
ゴ ミ	可燃ゴミ	不燃ゴミ	硝子瓶類	缶	ペットボ トル	自転車	粗大ゴミ	その他
第一会場	40L8袋	40L1袋	40L1袋	40L 1 袋	40L 1 袋	フレーム 1個	女性用新 品化粧品	傘1本、 段ボール
第二会場	20L8袋 40L12袋	40L6袋	20L1袋	40L 2 袋	40L 2 袋	0 台	石油 1 斗 缶 1 缶	傘 3 本、 金網 1 枚
合 計	20L8袋 40L20袋	40L7袋	20L1袋 40L1袋	40L 3 袋	40L 3 袋			

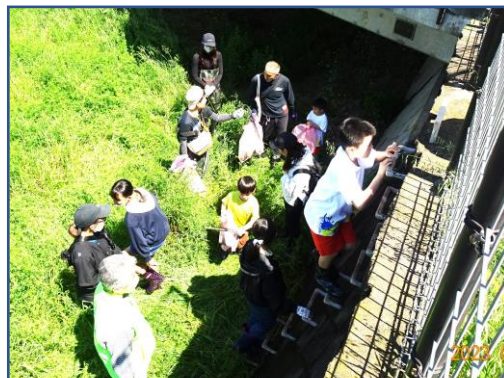
事前のCU、西武新宿線陸橋～御成橋間のゴミは16日に第二会場で一括処理しました。

クリーンアップ アルバム



何時もの通り森永さんの差し入れ、
ありがとうございます。

管理道路担当のお母さんと
安全監視の関岡さん



シッカリ最後まで子供たちの安全に気を
使って頂いた奥田さんでした。



ゴミ拾いコンテスト！

腰までの草むらに
子供たちは入れま
せんでした。
そこで、水の中
でのゴミ拾い！
こんなクリーンア
ップは初めてです。



正装で、清掃に参加♪



全員集合、アリジゴクや、コサギ、そしてタヌキ
の足跡を観察。(タヌキのため糞にビックリ！)
見えない動物たちの姿が見えました♪



全員で友保式分別作業の始まりです



山口さんも駆けつけて、キッズ会員の木下君
は最後の最後までおてつだいです。

第二回目「空堀川鯉のぼりフェア」

分部 光春

5月3日5日の二日間第二回目の「空堀川鯉のぼりフェア」が開催されました。野外の開催ですので、お天気が心配でしたが2日とも☀️で全イベントが無事に終了しました。(当NPOの会訓?に天気が良ければ7割成功とありますが)

これは子供鯉のぼりを作って頂いた、安藤さんや、つばさ保育園のお子様たち、巣箱づくりをお手伝い頂いた建設ユニオンさん、カヌー教室の多くの子供さん達に大いに喜んで頂いた石井カヌー教室の皆さん、避難所訓練でご協力頂いたヤマザキ製パンさんと市役所防災課の皆様、そして開催にあたってご尽力いただいた、市役所道路河川課や社協の皆様。当然NPOの皆様や「まちかど運動」の方々も大変ありがとうございました。『かわらの楽校』は昨年にも増して、参加者が多く皆真剣で水鉄砲作りにはお父さんの出番でお父さんもちょっと株をあげたかもしれません。建設ユニオンさんからは以前の川祭りより、来場者が多くてんてこ舞で、子供達よりメンバーの方が楽しませて頂いたとお礼まで頂きました。石井カヌー教室の皆さんも4年ぶりの開催で市役所が作った立派な土嚢積みでない手作りの仮堰や乗り場でも多くのカヌーを出せたのには大感激で、子供達の方より先生たちの方が喜んでいました。今回の鯉のぼりフェアにご協力頂いた皆様大変ありがとうございました、来年も宜しくご協力の程お願いします。開催の様子は画像でお楽しみください。



こども鯉のぼりは、つばさ保育園の園児さんと安藤さんのご協力♪



市川さんの竹林で水鉄砲の準備

鯉のぼりフェアスタート！ 多くの団体さんにご協力頂き、ありがとうございました。



5月3日



5月5日



かわらの楽校には生徒さんたちが一杯登校です♪



さー、ガサガサの始まりですよ！



建設ユニオンさんの巣箱づくりは、おじさん達も楽しんでいました。⇒ 巣箱は白梅学園と社協へ



竹筒水鉄砲の出来上がり！
お父さんはちょっと株をあげたようです。



放水体験は原田副隊長が大活躍です



ヘルメット姿で出動した
防災隊さんは大活躍です



ササ舟づくりもやっています！



避難所訓練は防災課と山崎製パンさんのご協力



まるで大自然のなかでのカヌー体験です。

空堀川 岸辺のアルバム - 春に咲く花 -

2023/4/15～5/5

原田 秀二

異常気象のせいか、気温の乱高下そうじて気温は高めであり、春の訪れも早く、各所で桜の早い開花が報告された。

空堀川の河原にも早く春が訪れた様で、まず雑草が芽吹くと瞬く間に河原を緑の絨毯に覆われてしまった。その中を覗いてみると可愛らしい野草の花が咲いているのが見られた。熱中症に注意しながら空堀川の散策はいかがだろうか！

その可愛らしさにクリーンアップや鯉のぼりフェアの合間に写真を撮り歩くと、その写真だけで32種類（枚数・木本含む）もありましたが、写真に無いホソバギシギシ、イヌムギ、フトイや名前を知らない雑草（こちらの方が多い）の花も咲いており、夏から秋にかけて咲く草も丈を伸ばしている。



オオカワジシャ (特定外来生物)

オオカワジシャ



和名:ヤハズノエンドウ (通称:カラスノエンドウ)

カラスノエンドウ



ハナニラ

ハナニラ



ナガミヒナゲシ

ナガミヒナゲシ



オオアマナ

オオアマナ



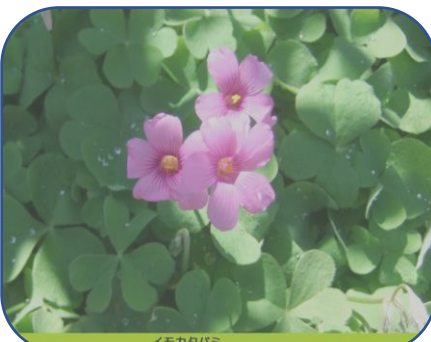
ナヨクサフジ

ナヨクサフジ



ヤセウツボ (他の草の根に寄生する)

ヤセウツボ



イモカタバミ

イモカタバミ



オオキバナカタバミ

オオキバナカタバミ

また、園芸栽培種のこぼれ種子や捨てられた花の苗が根付いて花を咲かせているものもあった。(動物の飼育放棄、植物の栽培放棄をしてはいけません。) 特定外来生物・植物や要注意外来生物・植物があり、罰則もあるので取扱いには注意しましょう。



オオキンケイギク

【特定外来生物】栽培、移植、種子の採種は禁止です。繁殖力が旺盛で他の植物の生育を阻害します。



ドロヤナギ(ドロノキ) ヤナギ科の高木で雌雄異株である。軟質木材で建材に向かず、爪楊枝、マッチ棒、経木などに使われるようです。炭酸カルシウムを含むため、柔らかい木なのに鋸刃や盤の歯を痛めるそうです。また住宅街では綿毛が洗濯物、干した布団などに付着するため嫌われる、悲しい木です。



新年度の実践活動事業、活動し始めた行事(続き)

垂水 荘司

昨年同様「子どもの水辺協議会」と連携の「子ども水辺」を活用した環境学習支援を行います。昨年実施した空堀川屋外体験学習支援では、2年生と5年生でしたが空堀川での自然との体験を感想文にして送っていただきました。それぞれ生徒の心に印象深く刻まれていたようです。以前行われていた学校のプールでの「ヤゴ」救出作戦(3年間中止)でも「喜々」として救出している生徒達を垣間見られた事を思い出します。

普及啓発活動事業では昨年(2022)から従来の「環境フェア」が変更になり11月末~12月始めに「エコライフフェア」として東村山市中央公民館で開催予定です。当会も1階展示場で当会の活動紹介、会報、入会案内等、2階でワークショップを予定しております。その他事業では昨年7月以降と同様、指定管理者株式会社日比谷アメニスと契約を交わした委託作業2件「下堀・ふれあい広苑の植え込み作業」と「美住町第3仲よし広場清掃作業」を履行いたします。何れの事業も他人にも従事者にも怪我をさせない、自分も怪我をしない終始安全、安心をモットーに遂行しましょう。

これまでの経過と今後の予定

(2023 年 2/2～2023 年 6/末)

- ◎2/02 子どもの水辺樹木管理(E,F ゾーン)
- ◎2/18 第 284 回定例会議
- ◎3/15 子どもの水辺樹木管理(B ゾーン)
- ◎3/18 第 285 回定例会議
- ◎3/25 第 5 回理事会
- ◎3/30 J:COM 地元応援つなぐるニュース出演
当会の活動 PR
垂水理事長がインタビューに対応
- ◎4/02 浄水場側空堀川ワンドの整備と、
投網講習会開催
- ◎4/08 第 6 回理事会、
第 286 回定例会議
午後より空堀川事前クリーンアップ
- ◎4/16 第 52 回(春の)クリーンアップ
- ◎4/26 第 7 回理事会
- ◎4/28 鯉のぼり掲揚(センター大型の鯉10匹)
- ◎5/01 鯉のぼり掲揚(2本のケーブルに30匹)
- ◎5/03、05 鯉のぼりフェア開催 10:00～14:00
- ◎5/06 会計監査
- ◎5/10 鯉のぼり撤収
総会資料の印刷・配送
- ◎5/13 白梅学園短期大学学生研修支援視察
- ◎5/15 故小林寛治さん(初代理事長)葬儀
7:30 マリア幼稚園にて
- ◎5/27 第 24 回(令和 4 年度)定期総会
第 287 回定例会
- 5/30 「元気アップ散歩で巡る空堀川見て歩き」
- 6/04 身近な水環境の全国一斉調査
- 6/05～17 空堀川受託作業
下堀・ふれあい広苑
(詳細は後日担当者より告知予定です)
- 6/10 第 288 回定例会
- 6/末 白梅学園短期大学学生ガサガサ体験

初代理事長 小林寛治様の
ご冥福をお祈り申し上げます

会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、
会の活動を支援し参加してくださる方を募っ
ています。 NPO 法人の活動に関心のある方
はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000 円
年会費 2000 円

団体・法人の場合: 入会金 一口 10000 円
年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要): 個人年会費 2000 円
団体・法人年会費 10000 円

◎会費振込先: 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市青葉町 2-24-59

垂水 (たるみ)

TEL : 090-8050-5662

おらが山映して暮るる代田かな
川底に限り無き宙若楓
まどろみの近く遠くに河鹿鳴く
里山の鳥居いくたびつばくらめ
しぶき上げ八十八夜の放流水
どの樹にも青蔭登る林かな
早苗田の水の鏡を駆ける雲
田水張る中の鎮守を遊び場に

あやとり句会

喜和

雑木林

真

緑

紀子

陽

澄

案山子

からぼり川

がたろう通信

第 115 号

2023 年 9 月 9 日
発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者 : 垂水 荘司 TEL 090-8050-5662 東村山市青葉町 2-24-59

ホームページ



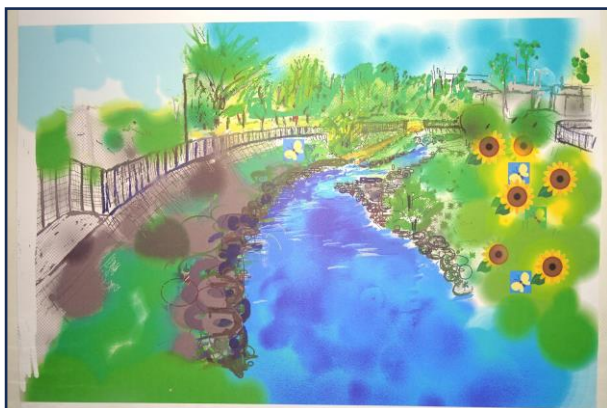
ブログ



委託作業と会員の高齢化について

垂水 荘司

空堀川周辺の側道整備事業として下堀広苑・ふれあい広苑の委託作業及び美住町の1丁目の第3仲よし広場清掃作業委託を2005（平成17）年頃から東村山市まちづくり部との委託契約で業務を行ってきました。約17年もの間空堀川の周辺環境の整備を行って参りましたが2022（令和4）年で東村山市委託契約は民間に引き継がれ当会も市指定の指定管理者との協議を重ねました。株式会社日比谷アメニスさんと委託契約を結び今年度で2年目の作業を行っております。2023年度の委託契約作業は当会としても無事に行いたいと思っておりますが、会員の高齢化及び会員数の減少等岐路にさし掛かっております。十数年前の作業効率は現在の1,3倍くらいでしたが昨今は高齢化が忍び寄っており、今後の受託協議に暗雲が漂っております。この状況から脱却する為には若手会員の増員と、魅力のある会に変身する事が望まれます。本年5月に他界された偉大な大先輩、初代会長の小林寛治さんが当会を設立するにあてた文言は「私たちは空堀川の自然再生と、河川本来の景観を復元することによってまちづくりを目指しています」でした。まさに「空堀川に清流を取り戻す会」を原点に立ち戻って、NPO活動を通して会員の皆さんで老々介護的な精神で再度空堀川を魅力ある川に復元したいものですね。



小林元理事長の描かれた理想の空堀川



第一回目のクリーンアップ

今年も身近な水環境の全国一斉調査を行いました

平田 健一

全国一斉調査の一環として、空堀川の東村山市内 6 ヶ所+1 カ所で水質・水量の調査を行いました。

調査方法

2023 年 6 月 4 日（日）9:00～11:30 友保さん・垂水さん・荒川さん・片山さんと私の 5 名で行いました。皆さん、お疲れさまでした。調査地点は、東大和市境の上橋・浄水橋・ふれあい橋・御成橋・野行橋・清瀬市境の大沼田橋間約 6km と御成橋の JR 武蔵野線の湧水です。例年通り、pH, COD, NO₂-N, NH₄-N はパックテストで行いました。

調査結果

今回は市内 6 ヶ所全部に水が流れていました。2014 年以来です。前々日に 200mm 以上の雨が降ったためと考えられます。2014 年は、前々日 300mm 以上降り 1 日延期しました。今回は、いつも水が流れている 3 ヶ所で 2014 年、2021 年、2022 年と比較してみます。

項目 年	上橋 下流				浄水橋 下流				御成橋 下流			
	2014	2021	2022	2023	2014	2021	2022	2023	2014	2021	2022	2023
気温 (°C)	27.0	23.6	28.1	26.6	26.6	22.1	28.8	26.7	24.5	24.2	29.6	25.7
水温 (°C)	20.6	23.8	24.5	21.4	21.6	22.5	26.2	22.2	22.9	19.6	22.2	22.1
pH	8.0	8.5	8.5	8.0	8.0	9.0	9.5	8.0	7.5	8.0	9.5	8.0
EC (μS/cm)	375	1507	1098	210	195	1390	1110	244	382	353	344	265
COD (mg/L)	2	4	4.7	3	2.3	4	4	2	3.3	2	4	2
NO ₂ -N (mg/L)	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.055	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005
NH ₄ -N (mg/L)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
透視度 (cm)	56	108	119	92	65	125	130	98	92	130	125	120
流速 (m/s)	0.29	0.39	0.17	0.71	0.63	0.21	0.26	0.56	0.45	0	0	0.38
流れ幅 (m)	9.8	5.1	4.1	6	11.2	4.8	3.8	5	8.2	7.3	5	9.6
平均水深 (m)	0.34	0.1	0.1	0.17	0.14	0.13	0.2	0.17	0.29	0.1	0.2	0.32
流量 (m ³ /s)	0.970	0.184	0.070	0.730	0.960	0.130	0.198	0.470	1.080	0.000	0.000	1.100

青字は、去年より良くなった。 赤字は、去年より悪くなった。

codは、三回の平均。

- ・流量は、いつもの 10 倍くらいあり、いつになく多かったです。流速が 0.5m/s くらいでした。
- ・水温が 22°C くらいと低かったです。いつもはもっと高いです。
- ・pH は、例年は 9 以上のアルカリ性ですが、今回は 2014 年同様 8 以下でした。魚が住める範囲です。
- ・EC は、電気伝導率でイオンの多少を示します。いつも 1000 μS/cm を超えていたのですが、今年は低く 200 台でした。
- ・COD は、上橋 3 と浄水橋・御成橋 2 でした。前日はかなり濁った水が流れていたのでも川底の有機物が巻き上げられたのか、見た目ほど良くはなかったです。
- ・透視度は、上流側がやや低く 100cm 以下でしたが他は 120cm 以上あり問題ないと思います。

まとめ

水の無い状態がずっと続いていましたが、今回は9年ぶりに市内全線水が流れていました。大沼田橋下流でいくつかの家族連れが遊んでいました。いつもこのような状態にしたいですね。

上橋 例年になく水量が多いです



浄水橋下流



ふれあい橋下流



御成橋下流



野行橋下流



大沼田橋 水量測定



大沼田橋下流 親水階段付近 川あそび



巣箱と「空堀川カメさん一座」のお話

分部 光春

皆さん、まだまだ暑い日が続いていますが、お元気にお過ごしでしょうか？空堀川も日照りや豪雨で大変な事になっていますが、お魚さん達は皆元気です。

さて、巣箱と「空堀川カメさん一座」と突飛もない題ですが、これは当会が目指す学校の教育支援の一端で、生徒さん達に川や自然に親しんで頂くと言う目的で始めたイベント。まずは空堀川の自然に関心を持ってもらう試みです。

●まずは巣箱のお話。114号でお知らせした様に、鯉のぼりフェアで建設ユニオンさんと子供達に作って頂いた巣箱を、小鳥たちのために町内に掛けようと言う試みで、社協や白梅学園の庭に掛けさせていただきました。

後は、10個程をワクワク広場の木に剪定後、掛けていきたいと思っています。空堀川の鳥さんの皆様、新築一戸建ての分譲の開始です。年内に設置予定です。社協内にモデルハウスを設置しました、ご家族皆様ご一緒に見学に来てください。

緑の多いプライバシー重視の設計です。



建設ユニオンさんの巣箱づくりはおじさん達も楽しんでいます。ありがとうございました。



建設ユニオンさんと子供達に作って頂いた巣箱は、空堀川の自然を構成する草木やお魚さん達と同様、鳥さん達も大事な一員です。鳥さん達も大事にして行きたいと思います。このような子供たちの愛護精神の醸成が、心の清流には大事です。

●続いては「空堀川カメさん一座」のお話。これは子供たちの学習支援や色々なイベントの際の、自然保護キャンペーンとして行っている「移動水族館」の事。

今年は、カップの会さん主催の菖蒲祭りやわんぱく夏まつりにも一座を派遣して大好評だった。町内会のお祭りにも参加して金魚釣りの隣で、動物愛護のお話をしました。また、市の産業まつりやエコライフフェアにも参加が決まっています。

物理的な清流の取戻しが無理な現状で、子供達の「心の中に清流を取り戻して」これからの世代に当会の趣旨をくんだ、キッズ会員や、ファミリー会員の獲得を移動水族館で目指していきます。

移動水族館



《 空堀川カメさん一座の大活躍 》

一座の編成は、宝塚歌劇団宜しく、花組のスッポン、黒メダカ、オイカワ、ギンブナなどの在来チームと、月組のアカミミガメ、アメリカザリガニなどの外来チームの二組で編成され、座長はスッポンのポンちゃん、出し物は「ろくろ首」長い首は、昔の妖怪ろくろ首を想像させ、かみつき神話と共に在来スター。

対する月組のスターは20年来の空堀川の主、ミシシippアカミミガメ、まずこの大きさには皆ビックリでまるでビックスターの貫禄です。出し物は4匹そろってのひっくり返し選手権や大脱走などなど出し物一杯で、雄雌講座や、ミドリガメの成れの果てのお話などは、皆さん興味津々で、北山公園のイベントではどこぞの大学の先生がこのカメさんパフォーマンスはいつどこでやってるのなどと、質問攻めに。まずカメさんがこんなに人がいるのに、首を出してキョロキョロするのが珍しい、良く慣れてるなんて大絶賛。カメさんたちはタダエサが欲しくてアピールしているだけなんです、先生には珍しいようで、大脱走の出し物には子供達と一緒に大声援です。

カメさん一座のギャラは北川産のクチボソです、これをバクバク食べるんです、草食性でなく肉食です。



北山公園「カメさん大脱走」には皆さん大声援、さて結果は？



カメさんは大変ですが、「背面立ち上がり競争」が大人気でした。



在来のスタースッポンです



ドーモ♪

ポンちゃん
です。

「ろくろ首」が
大得意だよ。

噛みつくから
気を付けて！

こんな「空堀川カメさん一座」ですが、これからも色々なイベントで、自然保護や動物愛護の精神で、川を愛し自然を愛した子供たちの育成に頑張っていきますので、皆様のご支援ご協力をお願いします。これが空堀川を理解して頂くまず一步です。市民の皆様にご理解頂かなくては清流は取り戻せません。なおこのイベントは「まちかど運動実行員会」との共催事業です。

下堀広苑、ふれあい広苑 委託作業

原田 秀二

今年も地球温暖化の影響と思われる異常な気温の乱高下があり、6月2～3日
 に向け台風2号が関東にも接近し、ハマナス畑もゴミを被りこれの除去もしな
 ければなりませんでした。

会員の高齢化に伴う中、委託事業を継続すべきかの話が出る中で、今年の夏
 は日比谷アメニスさんとの約束なので行いましょうと決まりました。

日程は、6月5,6日8,9日を決めましたが、天候不順が心配でした。

作業は何時もの通りで、皆さん手順を理解しているので理事長挨拶後、ラジ
 オ体操をして作業に取り掛かります。いつものことながら雑草の旺盛さには驚
 かされますが、広場は分部さんの兄上が神奈川から今回も草刈り機を搬入さ
 れ、大いに助かりました。

天気予報を見ると9日が雨模様で、ずぶ濡れでの作業は身体に良くないと思
 え、急遽7日に作業を入れて8日に仕上げて終わいましょう、となりました。

蒸し暑さのせいや作業を急いだ事で、フェンスの蔓や河原側へ延びだした植
 栽の枝が残っていました。

これでは「臥龍点睛を欠く」「これが私たちの会の仕事か…と思われてはいけ
 ない」と小池久さんから一言があり、10日に再度、仕上げの作業をされまし
 た。



当会のグランドキーパー



奥田さんの見栄えより植栽に優しい刈込作業
 です。帽子のかぶり方など本職顔負けです。

倉庫へトリマーを取りに行くと所定の場所
 に倉庫の鍵が無く、止む無く鎌、手作業での
 仕事になりました。

参加者は分部さん、同夫人、長本さん、小池
 久さんの四人ですが遅くまでご苦労様でした。

今回も怪我人も出ず、周りの方や通行の人に感謝の言葉を頂きました。ご参加、ご協力
 頂いた皆様、本当に有難うございました。



本日もご苦労様でした。

鯉の引越し大作戦

奥田 哲

小林元理事長の御逝去に伴い、ご遺族の中で数ある遺品をどう活かして整理していくかが懸案となり、その中に元理事長が大切に飼育されていた錦鯉の処遇がありました。

空堀川に放流するわけにもいかず、良い引取り先を探していましたが、当会のWさんの口聞きで社会福祉協議会のある方が手を挙げて下さり、その方の自宅の池に引越しすることになりました。

こうして6月末の某日、当会からWさんMさんと私の3人で元理事長宅にお伺いし、池から錦鯉13匹を丁寧に網で掬い上げ、これらをコンテナBoxを利用した特製の水槽に移し、車で約300メートル先の引越し先の池まで運び、一匹一匹優しく手で放流したのです。

今回の鯉の引越し作戦に於きましては、元理事長の弟様御家族が積極的かつ大変ご親切に対応して下さい、感謝申し上げますとともに、改めて小林家の結び付きの強さを感じました。おそらく小林元理事長も空の上からこの様子をご覧になられ、胸を撫で下ろしながらにっこりされていたことと思います。



新婦さん側は弟さんとその息子さんが参加して頂きました。



花嫁さんたちはちょっと緊張気味でした。



新郎側ではおばあちゃんがお出迎え、立派な池でビックリです



スズメバチにご注意！



原田 秀二

昨年10月のふれあい広苑整備のさい、飛んで来たスズメバチに右手中指の先を刺されました。蜂の種類は払い除けたため直ぐに飛び去り確認は出来ませんでしたが、ご近所のご婦人に水道をお借りして毒を絞り出し洗い流しました。その隣のご婦人には薬・キンカンを貸して頂き、患部を冷やすよう保冷剤まで頂きました。しかし1週間近く痛みが引きませんでした。

今年6月に堆肥置き場周りのベニカナメモチの刈り込みをしていると、置場入口付近で作業手袋の上からスズメバチに強烈な一撃をもらった！

すぐに手袋を取り毒を絞り出し、井戸ポンプの水で洗い流し、作業を中止して帰宅。薬・キンカンを塗り患部を冷やしました。

アナフラキシーを発症しなかったのですが、病院には行きませんでした。だんだん腫れが酷くなり、手の甲から指全体、日を追うにつれ手首、腕、肘の上まで腫れあがってしまい、完治まで2週間以上かかりました。

作業前には危険な個所や害虫など居ないかの点検をするべきと、大いに反省する事になりました。

これまでの経過と今後の予定 (2023 年 6/1～2023 年 11/末)

- ◎6/1 青葉小学校教育支援
- ◎6/4 身近な水環境の全国一斉調査
- ◎6/5 みんなの花壇の整備活動
- ◎6/5,6 空堀川下堀広苑・ふれあい広苑
受託作業
- ◎6/7～9 空堀川ふれあい広苑受託作業
- ◎6/10 第 288 回空堀川定例会
- ◎6/12 空堀川ふれあい広苑受託作業
- ◎6/19 インボイス制度日比谷アメニスと交渉
- ◎6/23 東村山市市民協働課、CU 等の協議
- ◎6/25 鯉の引越し大作戦(錦鯉のお嫁入り)
- ◎7/7 第 1 回理事会(新年度)
- ◎7/8 第 289 回空堀川定例会
- ◎8/10 第 2 回理事会(書面理事会)
- ◎8/17 空堀川下堀広苑草刈り
(青葉町夏祭り会場整備作業)
- ◎8/26 臨時総会準備 & かわらの学校(毎年
恒例・御成橋ワンドの生き物観察会)
- ◎8/28 青葉小学校支援 空堀川体験学習
事前学習日 & 実施日打合せ
- ◎9/9 臨時総会
第 290 回定例会議
がたろう通信第 115 号、及び、
故小林寛治さんを偲ぶ号発行
- ◎9/13 青葉小学校支援 空堀川体験学習
- ◎10/11 青葉小学校 6 年生
アオバミライブプロジェクト作戦会議
- ◎10/14 第 291 回定例会議
- ◎11/11 第 292 回定例会議
- ◎11/15 アオバミライブプロジェクト



ペットやさんのリクガメが、空堀川をお散歩中♪

会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加してくださる方を募っています。NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000 円
年会費 2000 円

団体・法人の場合 : 入会金 一口 10000 円
年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要) : 個人年会費 2000 円
団体・法人年会費 10000 円

◎会費振込先：郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市青葉町 2-24-59

垂水 (たるみ)

TEL : 090-8050-5662

晩夏かな馴染みし山も川音も
熟桃の滴りを吸ふ台所
水打つて腰の曲がりし母をふと
啄木鳥や見事に戸板叩き割る
降水帯息をつかせず夏果つる
滝の音近くて遠きハイキング
水澄むや産土神の御座す森
生涯を青空搔きてみづすまし

あやとり句会

喜和 案山子 雑木林 真 緑 紀子 陽 澄

からぼり川

がたろう通信

第 116 号

2024 年 1 月 20 日
発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者 : 垂水 荘司 TEL 090-8050-5662 東村山市青葉町 2-24-59

ホームページ



ブログ



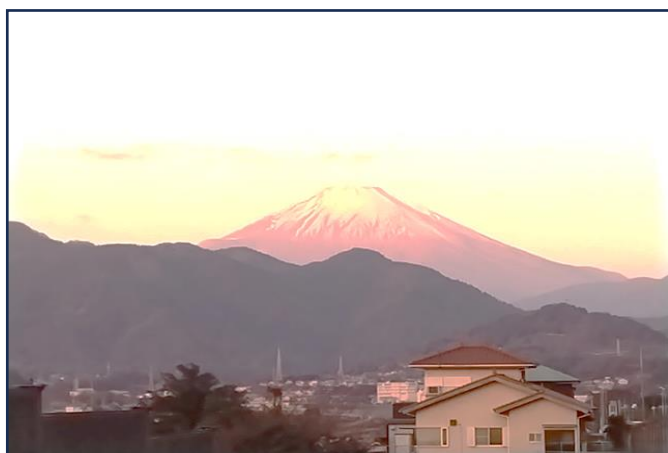
新年明けましておめでとうございます

垂水 荘司

ここ 3、4 年決まったようにコロナ禍で始まりコロナ禍の話題が続きましたが、今年からはその話題から解放されたような、新年を迎えられたのではないのでしょうか？

当会に於きましては感染者が皆無とはいきませんでした、重症者は無く大事に至りませんでした。

今年は 1) 実践活動事業で最大の活動は 2020 年からコロナ禍で中止していた「空堀川 川まつり」第 22 回を開催するかどうか、今後関係者のみなさまと協議を致します。他の事業として子供の水辺の維持管理、環境学習支援活動、鯉のぼりフェア開催 (4、5 月)、年 2 回 (4 月、11 月) の空堀川クリーンアップ、水量、水質調査 (世界環境デー、6 月) 市内 7 箇所、空堀川花壇整備 (4~11 月) 市内 7 箇所等を実施する予定。



2) 普及啓発活動として年 4 回の会報の発行、ホームページ、ブログの維持管理 (随時)、エコライフフェア、ワークショップへの出展、昨年は 11 月 26 日秋津秋水園にて開催され当会も参加しました。今年も参加の予定をしております。

3) その他事業、広苑整備 昨年まで継続していた空堀川受託作業（下堀、ふれあい広苑）、（美住町1丁目第3仲よし広場）清掃作業委託は、管理者の株式会社アメニス社に令和6年から撤退する旨 令和5年10月6日に申し入れ了承されました。但し下堀広苑の平地部分を当会がイベント活用のため、無償で借用する旨お願いした。具体的な活用方法を提示して了承を得る事にしております。

4) 空堀川コヒガン桜等の管理について 適用区間は、（空堀川・中橋下流右岸の植栽地）及び（空堀川・馬頭橋下流右岸のコヒガン桜）です。小彼岸桜については、当会と東村山市小彼岸桜の会様と協同管理で樹木等の剪定を実施する予定です。

以上で令和6年度の大まかな当会の活動について、関連諸団体の皆様方や会員の皆様方のご協力をお願い致します。

第53回空堀川秋のクリーンアップ

第53回となる空堀川クリーンアップ活動は令和5年11月18日（土）に小春日和の下で行われました。

第一会場 岡田一郎

朝礼では活動趣旨および活動要領を説明し、秋深む里山風景や草花を楽しみながら安全・安心を旨とした美化活動の励行をお願いしました。初の第三中学校の校長先生等が引率する生徒の参加と森永乳業社の多量の飲料水提供を紹介し、当会員8名の自己紹介挨拶を終えた後に集合写真を撮りました。全参加者を二班に分けた恒例の活動スタイルを採りました。三中の荒井校長、福島、入江両先生と生徒6名はそれぞれが当催事の意義を理解され、分別活動も体験されて参加の成果が大であった感想を述べられ、森永乳業社の4名は徹底した分別作業に深く感心し、貴重な体験実習を得た旨を力説されていました。また、キッズ会員の木下悠人君が呼びかけて実施されたアオバミライブプロジェクトとしての小学生約20人による事前クリーンアップ活動が参加者の話題になりました。分別作業時には冒頭に日頃から倉庫裏に収集して蓄積してきた多量のゴミ袋を紹介し、予定通り12時に分別作業を終えました。当日の最終的な成果物「分別したゴミ袋山」を前にした風景を集合写真に収め、無事に活動を終えられた謝辞を述べ、参会者の帰路の安全を約して解散宣言をしました。

20日（月）午後に、道路河川課の高野様から今回の搬送ゴミ量は計量170Kgの連絡を受けました。今春の第52回の分別ごみ量50Kgに比して、今回のごみ量は実に3倍強に急増したことになります。

第一会場 スタート！



第二会場 垂水荘司

今回のクリーンアップ活動も第一会場と第二会場に分れて実施しました。第二会場の範囲はなかよし橋から大沼田橋間です、途中の西武新宿陸橋～なかよし橋間は前回と同じく、11月11日に事前クリーンアップとして会員のみで実施しました。この間の収集ゴミは「まちかど運動実行員」の方の車に一時保管していただき、11月18日の本クリーンアップ日に一括処処理しました。従って第二会場のゴミの量は事前クリーンアップと合算しております。

参加者は35名でしたが、森永乳業様の13名は非常な戦力になりました、又戦力と共に沢山の飲み物の差し入れをいただき感謝に耐えません。前回も参加を仰ぎました「青葉安心ネット」の皆様、又今回は放課後ディサービス「楽しい放課後みんな」の皆様、青葉小の親子連れの皆様が、ご参加下さいました。一部の区間では参加人数が非常に少なく不快な思いをさせたこともありまして、主催者として大いに反省すべき一幕がありました。今後は終始気持ち良く参加下さいますよう気配りをして参りたいと思います。

今回の会場別参加者および分別ごみ量は以下の通りです。

参加者

	一 般	森永乳業	行 政	当 会	その他	合 計	区 間
第一会場	9 名	4 名	3 名	8 名	第3中学校 先生3名、 生徒6名	33名	上橋～久米川橋・ 西武新宿線陸橋間
第二会場	6 名	13 名	0 名	9 名	小学生5名 先生2名	35名	なかよし橋 ～大沼田橋間
合 計	15 名	17 名	3 名	17 名	16 名	68 名	

分別ゴミ種類

	可燃ゴミ	不燃ゴミ	硝子・瓶類	空缶	ペットボトル	粗大ゴミ	その他のゴミ
第一会場	25 袋 (60ℓ)	3 袋 (60ℓ)	1/3袋 (60ℓ)	3 袋 (40ℓ)	3 袋 (60ℓ)	段ボール40 ℓ：2袋、 金属類60 ℓ：3袋	ミニコンポ：1セッ ト、ビニル傘：2本、 小型扇風機：1台、電 気ストーブ：1台、フ
第二会場	34 袋 (40ℓ)	14 袋 (40ℓ)	2 袋 (40ℓ)	3 袋 (40ℓ)	4 袋 (40ℓ)	スチロール 版600× 900：7枚、 樹脂箱450× 900：1箱、 樹脂パー2 m：4本、 樹脂波板600 ×900：1枚	ラジカセ：1台、小型 TV：1台、LPガスボ ンベ：1缶、子供補助 椅子（自転車用）：1 台、水筒：1缶、ヘル メット：1個、ビニル 傘：5本



第二会場 スタート！

東村山市エコライフフェア 2023 に参加

平田 健一

2023 年 11 月 26 日（日）に開かれた東村山市リサイクルフェア実行委員会主催のエコライフフェアに参加しました。市民団体は、当会・東村山エナジー、まちかど運動実行委員会、東村山花と野菜の会でした。その他に、東京ガス株、美住リサイクルショップ運営委員会、とんぼサポーター 2、東村山市環境整備事業協同組合などでした。お手伝いいただいた皆さんお疲れ様でした。

開催場所・時間、実施方法

開催場所は、去年までの中央公民館から秋水園に変わりました。11 月 26 日（日）10 時～14 時 30 分でした。場所は、秋水園のゴミ焼却棟とリサイクル棟の間の屋外です。

当会の展示内容

今回は、屋外でパネルを展示するスペースが無かったので東村山市から借用したテントの柱に物干し竿を止めて、それにパネルを吊るしました。当会の活動、空堀川の水枯れの現状と原因・対策、水質調査結果をパネル 6 枚にしました。例年のことですが空堀川の魚の展示(オイカワ、モツゴ)は、「空堀川にこんなに魚がいるんだ」という声が多かったです。場所が秋津町の北の端なので空堀川に行ったことがない方もいらっしゃいました。



ワークショップ



秋水園ふれあいセンターで 13 時～14 時 15 分に開催しました。展示場所と離れていたこともあり、参加者は 2 家族、6 名でした。空堀川ってどんな川？と題してクイズ形式で行いました。最後に参加者にパックテストで ph の測定を体験していただきました。

《 良かった点・反省点と今後の改善点 》

良かった点

- ・秋水園周辺の方に空堀川のことを知っていただけた。
- ・屋外だったので急遽投網の講習会を開き、興味を持って見ていただきました。
- ・空堀川アンケートとキッズ向けクイズを実施し、空堀川に対する理解度や皆さんの意見を聞くことができました。

反省点

- ・秋水園は、市の北端で公共交通機関も利用しにくいので、全体の来場者が少なかった。
- ・11月の末の1日だけの開催で、朝は小雨が降り最高気温も8℃位と寒い日だったので参加者が少なかった。近隣の方にとどまっていた印象でした。屋外でこの時期の開催には無理がありました。

12月6日に反省会があり、当会からは場所や期間の変更と期間の延長も申し入れましたが、場所は来年も秋水園になりそうです。参加団体からも11月末の開催は無理があるという意見が多かったです。時期は、10月になるようです。また、どこで何を展示しているかの掲示がなかったので入口に案内板の設置を要望しました。

当会としては、来年は屋外展示に対応したやり方に変える必要があります。ワークショップも行いましたが、参加者が少なかったです。来年は、屋外でおこなうなど変える必要があります。

広報活動は、当会ホームページ、ブログ、個人FBで行いましたが、見る方はいらしても来場の増加にはつながりませんでした。来年は、大勢の方が来ていただけるように展示内容や広報を考えないといけません。



急遽 投網の講習会！

エコライフフェアで実施したアンケートのまとめ(最多回答項目)

Q1	空堀川に沿って散歩したり走ったりしたことがありますか？	ある	58%
Q2	馬頭橋～第二砂川橋までが【子どもの水辺】に指定されていることをご存じですか？	知らない	83%
Q3	空堀川の生き物で見られそうに思えるものに○をつけてください	オイカワ	12%
Q4	年2回クリーンアップ(ゴミ拾い)を行っていますか？	知っている	53%
Q5	河原の草について	外来種だけ刈る	56%
Q6	河原の木について	外来種だけ刈る	53%
Q7	【鯉のぼりフェア】について	知らない	58%
Q8	子供が川で遊ぶことについて	保護者同伴なら良い	68%
Q9	市民団体(空堀川に清流を取り戻す会)について	知らない	47%
Q10	空堀川で当てはまる項目に○印をつけてください	水が少ない	48%
Q11	空堀川の水はほとんどが森永乳業の工場排水を高度浄化処理した水です。ご存じでしたか？	知らなかった	89%
自由意見	「遊歩道から階段を降りて川のそばを歩くのが好きだが、階段のあるところを増やしてほしい。」 「子供がよく遊びに行きます。好きな川です。」 「もう少し遊べる場所があればよい、きれいだといよい」		

この素晴らしい出会いに感謝感謝♪ (教育支援活動に参加して)

島崎 よう子

青葉小の学習支援は、今年で3年目になりました。最初に取り組んだ亀山先生が言われた『空堀川は不思議の宝箱だ。学習しないのはもったいない!!』の言葉は私たちにとっては最高のご褒美でした！空堀川の不思議の発見の糸口づくりが大成功だったという事になります。

がたろうサンは、昔少年だったころ故郷の川で遊んだ事を今の子どもたちに体験させたい。自然には不思議がいっぱいだよと知って欲しい。自然環境に目を向けるようになってほしいと、そんな思いで、川の会の活動を続けてきましたが、青葉小が授業として取り組んで戴けたおかげで、その鎖を繋げていける事になりました。本当にありがとうございます。感謝の思いでいっぱいです。



最初のかわらの楽校は手探り状態で、多くのご協力頂きました。



学習場所への行き帰りの安全監視は「まちかど運動」さんをお願いしています。

《 事前学習 》 空堀川で体験学習をする前には、どの学年も、その学年にあった事前学習を行います。

- ① 空堀川の歴史（空堀川はなぜ水がないか）
- ② マイクロプラスチックと空堀川の関係（海から遠いのに問題あるの）
- ③ 空堀川にはどんな生き物がいる？（外来種のカメや魚さんをどうするか）



今年の事前学習は準備もしっかりで力が入っていました。



2年生事前学習で子どもたちの質問責めにタジタジです。

《 事前準備 》

川遊びにとって、一番の気がかりは天気です。当日の雨降りも心配ですが前日の降雨によっては水嵩が増して危険な場合がありますから暑い涼しい同様に天気予報に注視します。子どもが隠れてしまうほど丈の伸びた草を刈ったり、ワンドの泥をすくったり、水位を調整したり、竹筒水鉄砲を作ったり、水路をいじったり、早朝に魚を捕まえたり、危険個所にロープを張ったり、この準備が楽しい。



かわらの楽校を始めるには草刈りをして、子どもたちが怪我をしない様に安全を計ります



保護者の皆さんもたくさん参加して頂いて「かわらの楽校」の始まり始まり。



こちらが大人気のガサガサでお魚取り、なにが獲れるかワクワクです。

《 ・がたろうサン達からの感想・ 》

☆子どもたちの目がキラキラして一生懸命なのが、嬉しいねー。私たちは子どもから元気をいっぱい貰うよ。

☆ペットボトル水鉄砲より、竹筒水鉄砲で夢中になって水飛ばしするのよ。竹筒の方が難しいんだけどね。やはり、自然の素材の方が魅力があるんだね。

☆子どもたちの質問に答えられるようにおじさん達も勉強勉強だ。

☆こどもを見ているだけで面白いね。

☆グループで話し合うとき、喋らない子の意見も引き出すようにできるんで驚きましたよ。

☆とにかく楽しい！教育支援のボランティアをやってて良かった。

☆この間、カエル公園で“オイカワ先生”って呼ばれて違うよと言ったら、「川のオイカワを教えてくださいな人でしょ！」って2年生の子に言われて、こりゃあ嬉しかった。



竹筒水鉄砲は近所の地主さんのご好意で竹を切って、がたろうサンの手作りです。

今回は、青葉小2年生の感想文（がたろうサン達へのお手紙）をたくさんいただいて涙々でした。霜村先生の素晴らしいご寄稿にも感謝いたします。

大岱小や白梅学園でも学習支援が始まり、他の小、中学校へも広がって欲しいと願う新年です。

からぼり川であそぶ

～青葉小学校 2年生の子どもたちと

霜村三二（青葉小元講師）

ひよんなことで青葉小へ

私は小学校教員をはるか以前に退職した後、若い教師たちの支援を続けていました。各地での教員不足の状況は知っていましたが、まさか自分に青葉小の方から担任の依頼が来るとは思いませんでした。ただ、全生園を学区に抱える青葉小学校の教育実践にはかねてより関心を持っていたので、産休代替の依頼の声を聞き、逡巡したものの「青葉小なら」と5月初めから2年生の担任になる決意をしました。人権教育を大事にしてきた学校で、その末端で自分も学ぶことができればという思いがあったからです。

実際の現場に入ってみると、コロナ禍をくぐって学校の変化は大きく、制約もあり、戸惑いながら浦島太郎の心境で日々子どもたちと向き合うことになりました。

それでも子どもたちと一緒にいると、かつて小学校の担任した時の喜びを思い出します。それは決まったカリキュラムをなぞる学びだけではなく、目の前の子どもたちと地域に根ざす実践をつくることができた自由さが学校にあったからでした。

地域とつながる実践をつくりたい

いま地域に根ざし、「楽しい授業」をつくりたいと思っても、学校での様々な課題が多くて、ゆっくり実践することはとても難しくなっています。それでも青葉小の教職員はとても努力しています。2年生の学年メンバーと協力し、私もその中の一人として実践に加わりました。

2年生は春先から「町たんけん」という学習に取り組んでいました。しかし、この町たんけんは困難に直面していると感じていました。かつての青葉商店街は、町たんけんのメインの場所でしたが、商店が目立って少なくなり、学びの場所とするのは難しいのです。子どもたちにとってのくらしに関わる場所という面が少なくなっていました。

さらに全校を上げて取り組んでいた学区内にある全生園という人権学習、自然学習の場が、コロナのために入園することができなくなったために、低学年からの継続した取り組みに困難が生まれていました。地域の中で子どもたちは育つのに、地域とつながる学習が成り立ちにくいということは、大きな問題です。

からぼり川であそぶことの意味

青葉小では2年生の9月の生活科学習の中に「からぼり川であそぶ」がありました。しかし、学区の際（きわ）を流れる空堀川であそぶことを自分事にするという意味づけは曖昧なままだと思いました。子どもたちにとっての「町」

（自分たちの住む地域、くらし）と言うものの捉え方の難しさがあるからです。そのためにも、「なぜ空堀川であそぶのか」を明らかにしながら、先ず授業する私たち教師の問題意識を問い直したいと考えました。

学区の際を流れているためにこの川に関わることは普段はありません。「川あそび」もほとんどの子どもたちが未経験です。子どもだけでなく、大人たち（保護者も教員）も同じです。

歴史的にみると、この地域一帯のくらしは、川と深いかわりがあったことがわかります。秋津から恩多原一帯の地域（現在の青葉小学区）のかつての住民たちにとって、生活、農耕の暮らしには、川の存在は大きな関わりがありました。川幅の狭いかつての空堀川は、生活のための利水という反面、豪雨の際には何度となく氾濫をしてきました。災害となれば、否応なしに関わりが生じます。住民要求もあり、河川改修によって、空堀川はコンクリート3面になり、流域の樹木や草木は減少し、更に川幅が広がることによって直線的な流れになりました。結果として、この川は、流域からの湧水も少ないために、空堀状態が恒常化するようになっていました。

上水の整備などもあり、住民の暮らしでも川の存在は自然と軽視されるようになります。

昭和30年代、40年代の高度経済成長、さらにこの流域の宅地開発などにより、多くの都市河川がそうであったように、川は荒れ、汚染が広がりました。湧水の少なかった空堀川は、生活排水、下水などの流入によって、他の河川と比べても汚染度が高くなり、一時期は、東京の河川の中でもワーストワンの汚染度になってしまいます。空の状態の川であったことが汚染状況の改善につながらなかったのです。

一方、「川が死んだ」などと言われた状況に対して、流域住民の中から川を蘇らせようという運動があちこちで起きました。みなさんの会もそうですね。その努力に敬意を持ちます。

長い時間軸で川あそびをつくりたい

私はかつて埼玉県朝霞市の現場教師だった時に「黒目川」での川あそび実践をつくったことがありました。空堀川での実践イメージにこの時の体験を生かしたいと思いました。

それは、地域で川の浄化運動に取り組む方たちとつながりながら学びをつくるということです。黒目川実践には10数年という時間がかかりましたが、いまではそれは地域実践として定着しています。春夏秋冬、川遊びのひとたちが集う川になりました。

空堀川でのあそびのことも、実践するにあたっては、このような時間軸が必要だと思いますが、異動の早い現状ではなかなか難しいのが現状です。

けれど、子ども時代の体験のなかに、空堀川であそぶことを、タイムカプセルのように埋め込んで置く意味は、実は大きいのではないのでしょうか。この川を甦らせようとする人たちがいることを知っておくことなど、子どもたちを「SDG's」の実践に気づかせる点で必要だと考えるからです。

ひとびとの無関心が「川の死」を生んだのだから、様々な場面で「関心を持つ」機会を創らねばならないと思います。子どもたちは「あそぶ」体験をすることに意味があると考えます。川の歴史や課題など先々の学びの課題となるでしょうから。

一つだけ、新たに提起したのは、保護者の方たちに空堀川でのあそびを受け止めてもらいたいと考えたことです。これは、大きくは子どもたちの育ちの根っこにつながることはないかと思っています。子どもたちが懸命にあそぶ姿に触れる事を通して、学校と保護者の共同の視点を生み出さずだろうと考えます。

今回の授業実践は、迷いと戸惑いと共にありましたが、それでも、子どもたちの「川であそぶことは楽しい」という思いにつなげることができたと思います。これもひとえにご協力いただいたみなさんのおかげです。ありがとうございました。

子どもの水辺－樹木管理作業

(2023 年度スタート) 参加報告

荒川 昭彦

空堀川の河道内樹木について、住民・市からの要請を受け北北建は 2018～2020 年に亘り約 800 本の樹木伐採を行おうとし、当会の友保理事長（当時）より伐採の多さに警鐘を鳴らし、科学的根拠に基づき再検討を提唱したが、残念ながら受け入れられませんでした。

その後、「子どもの水辺（馬頭橋～第二砂川橋）」については、植生豊かで子供たちの遊びや学びの貴重な区域であり、当会にとっても「子どもの水辺」の認定登録（2004 年）から関わり、主要な活動の重要な場でもあることから、より自然環境や安全に配慮した当会の考え方が実現できる樹木管理が必要との観点より、友保理事長（当時）が「子どもの水辺の樹木管理作業」を当会がボランティアで行うことを東京都北北建に提案・折衝し晴れて合意に達した経緯があり、2020 年 12 月に第 1 回の作業が開始されました。

小生はこのボランティア作業の意義に感銘し、個人的にも剪定処理のコツの習得・植生の知見・適度な付加運動の機会を得られ、毎回愉しみに参加している次第です。冗長な前書きとなりましたが、本題のテーマについて以下述べていただきます。

当会による「子どもの水辺」の樹木管理のボランティア作業も 3 年目に入り、新たに原田理事がリーダーとなり 2023 年度の作業スタートを迎えました。

①第 1 回は、11 月 23 日祝日（9 時～12 時）に行われ、天気は小春日和のぽかぽか陽気。

原田リーダー、技術指導友保顧問以下会員 6 名の参加を得て、からぼり広場（浄水橋～第二砂川橋）左岸が作業エリアです。

原田リーダーの作業手順の説明後早速作業に入り、対象樹木は 4 株（ヤナギ、クワ 2 株、トウネズミモチ）で、作業内容はヒコバエ伐採、株立ちの整理、枝抜き、高枝の切り詰め

を行いました。特にクワは鯉のぼりの邪魔になる枝を剪定、ヤナギは水面に垂れ下がった枝を剪定しました。

切り枝葉の量は、枝葉の密集したトウネズミモチの剪定量が多かったこともあり、想定より多くなり（30 束、丸太 15 本）、集積場所（からぼり広場トイレ前）への運搬が最後のタフな作業となりました。なお収集処理は東京都北北建にお願いし即刻処理いただき多謝。

②第 2 回は、11 月 30 日木曜日（9 時～12 時）に行われ、天気は作業日和の好天、原田リーダー以下会員 4 名の参加を得て、前半は前回に引き続き、からぼり広場左岸の第二砂川橋寄りのクワ 2 株のヒコバエ伐採、低位の枝抜きを行いました（チェーンソー不使用のため太枝の剪定は行わず）。後半は、からぼり広場右岸の護岸に接した小株のクワ 5 株を伐採し右岸の河川敷がスッキリしました。今回の切り枝葉の量は（12 束、丸太約 10 本）と比較的少ないため、ユリノキ広場に仮置きし、次回分と合わせ東京都北北建に収集処理をお願いすることにしました。

以上 2 回に亘り、からぼり広場の樹木整備作業を行い、広場はかなりスッキリとした綺麗な景観となり、来春以降に催される鯉のぼりフェア等の各種イベントの開催環境も整えられてきたかと思います。

参加会員の皆様大変ご苦労様でした。なお、引き続き 12 月から来年 3 月に亘り、「子どもの水辺」の樹木整備作業が予定されていますので宜しくご協力願います。



川沿いもスッキリ綺麗になりました！

最後の受託定例作業

原田 秀二

諸先輩が長年継続して来た受託事業ですが、諸般の事情でこれを返上の止むなきに至り、今回で最後の広苑整備受託作業となりました。

作業は10月10日から17日まで。但し14日PM半日、15日雨天中止とする。

10月に入ってから朝晩の気温差が激しく、日によっても乱高下があり、体調維持が大変でした。

9日のスポーツの日はまとまった雨と10月としては異例の寒さで、10日からの作業を心配したが、朝の内は小雨が残り予報は回復に向かうので参加者の皆さんと垂水理事長の挨拶、ラジオ体操から作業開始となった。

まず下堀広苑の下流側から始めるが、春の刈り払いの時はそれほど伸びていなかった草も、酷暑の夏を越え秋には随分と草丈を伸ばしている。

ラジオ体操のグループが終わるまで広苑出入口付近や植込みの草を始末する。それでもかなりの草の量になりそうだ。クチナシやベニカナメの植込みに被さるカラスウリ、ヤブカラシ、ヘクソカズラなどの蔓も作業の手を煩わせる。植込み内のヨウシュヤマゴボウも葡萄色の実を付け大きくなり、出入り口に立っている支柱（パーゴラと言うらしい）に絡まる太い蔓のノウゼンカズラのオレンジ色の花も終わりに近づいている（17日にはこの柱は撤去されていた）。

刈り取った草は干し草にしたいが、そのままと言う訳に行かず幾つもの山を作り、なるべく乾燥させるようにする。

達磨坂橋近くのヤマブキの刈込をしたときに、あるご家庭のツルバラがヤマブキ側にはみ出しており、その下のヤマブキが一部枯れていたため、良かれと思い刈込をしましたが、少々刈り込み過ぎたようで住宅の奥様から窓の目隠しにしておいたもので、事前に一言ほしかった、とお叱りを受け誠にゴメンで申し訳ありませんでした。

ふれあい広苑も刈取った草を所々に溜めて置き、後日カブトムシ幼虫の罠とその付近に持ち込み処理いたしました。最終日も「まちかど運動実行員」分部さんのワゴン車で刈草を運びましたが、広苑と道路予定地が塞がれ置場変更です。

大変だったのは、左岸沿いの河原側にはみ出したツツジの枝やアカメガシワなどの雑木の伐採と処理でした。脚立と太枝切バサミ、剪定鋏で処理しましたが、この枝・木を束ね水辺の藪漕ぎ渡河作戦で対岸の処理置場まで運ぶのも一苦勞でした。

また、満開のキンモクセイの咲く右岸側のツル取りも、毎回の事です苦勞して根気よく手作業で取り除きます。

最後の受託事業なので皆で話、次の事業者に笑われないよう、また自信を持ってやり遂げた！と言えるまで綺麗にしたのは私たちの誇りと矜持であり、参加して頂いた皆様のおかげです。

これからも広苑の草や木、河原の草木に係ってゆく事になりますが、ここで培った作業技術・経験や会員の繋がりを大切に次に生かして行きましょう。

またご近所、ご通行の皆様にご迷惑もお掛けしましたが、励ましのお言葉も多く頂いたことは大いに励みになり、有難うございました。

最後に「まちかど運動実行員」分部さんのご親戚、ご家族、お知り合いの方々にも大いにお力添え頂き、感謝申し上げます次第です。

作業の取り仕切り的一端を担った者として、至らぬ点が多々あったと思いますがご容赦願うと共に、ご協力に感謝・御礼申し上げます。有難うございました。





からぼり川

がたろう通信

第 117 号

2024 年 5 月 25 日
発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者 : 垂水 荘司 TEL 090-8050-5662 東村山市青葉町 2-24-59

ホームページ



ブログ



新年度に向う諸行事について

垂水 荘司

事業の実施に関する実践活動は、既に実施された活動もありますが、新年度では最初の事業として4月第3土曜日に、空堀川クリーンアップを実施しました。2回目は11月の第3土曜日に予定しております。

環境学習支援については、川に特化した環境学習支援が多く空堀川をターゲットとした学校が3～4校有りました。この活動は情熱的な行動を実践する先生と生徒が一体となり、我々はその活動の支援部隊として今後も取り組んで参ります。

環境関連では毎年6月第1日曜日に「身近な水環境の全国一斉調査」があり空堀川では7箇所水質・水量の調査を行います。この調査では今後学生、一般の方々を含めた実施が望まれます。又水量の確保の為に活動として年数回開催されている「柳瀬川・空堀川流域連絡会」に出席し空堀川の環境改善の一助となるよう取り組みます。

5月は例年であれば川まつり第22回が開催される予定でしたが、コロナ禍後遺症や諸事情により行政とも協議の結果中止に至りました。今後は9月に再協議をして従来の5月末に限定する事なく、開催時期、開催方法等が検討課題です。川まつりとは別に2年前から恒例化している「鯉のぼりフェア」を5月3日、5日開催を実施しました。

昨年秋津秋水園で開かれている、エコライフフェアは当会も参加を予定していますが、昨年11月26日は屋外での開催で悪天候でした。天候に左右されない開催場所及び開催時期の見直しが望まれます。普及啓発活動では当会の4回の会報発行とホームページのブログ維持管理を常に新規のものにする事を実践致します。



5月5日 鯉のぼりフェア カヌー体験



教育支援活動での出張授業

第54回 空堀川 春のクリーンアップ

4月20日 第一会場報告者：原田 秀二

好天の中、森永乳業さん、市立第三中学校・自然探求部の皆さんと先生が応援にご参加くださいました。また一般市民の方々も加わりクリーンアップが始まりました。当初、第一会場へ森永乳業さんからの応援はお二人でしたが、第二会場から急遽四名の方が応援に駆けつけてくださり、大きな戦力となりました。

挨拶の後「わが町・東村山を、ふるさとを綺麗にしよう！」を合言葉に、こどもの広場から上流側と下流側に分かれクリーンアップを開始しました。ここ数年は温暖化のためか河原にはびっしりと雑草が繁茂しています。特にヤハズエンドウは足に絡みつき歩行を妨げ、カラスムギなどは草丈が膝上まで伸びて沿道から投げ捨てられたゴミを隠し、これらを探すのに草を掻き分けなければならず、作業を一層困難なものとしています。

天王森橋付近では久米川駅・栄町方面から流入する未処理下水で相変わらず悪臭が酷く、衛生的に考えても、早く下水処理100%達成が望まれます。

会員外の市民参加の皆様、市立第三中学校の皆様も頑張ってください、最後のゴミ分別までしっかりとやって頂き有難うございます。数年前と比較すると大分ゴミも減ったように感じますが、市民の意識が向上したものとして嬉しく感じます。

今回の春のクリーンアップにご参加の方々は第一会場には会員を含め一般参加の方々、森永乳業さん、第三中学校の皆さん総計26名もの人のご協力で行われました。結果はピンクのボランティア袋で計33袋ありました。

尚、森永乳業様より飲み物を多数頂き、暑さのなか感謝申し上げます。また、参加賞としてまちかど運動様からアルファ米、クラッカーを各一箱ずつ頂戴し、皆様に配布し喜ばれました。

また、当会が永年行ってきた下堀広苑、本町児童館前のふれあい橋前後の空堀川管理通路の植込みや広場の植生管理から止むを得ず撤退したため、これらについて不要になった廃棄物や、ゆりの木広場など年間を通し拾っていたゴミ類も、市役所の担当者の了解を得て同時に廃棄処理をさせて頂きました（これらは集計に入りません）。回収にあたられた市役所の皆様、有難うございました。

秋のクリーンアップにも皆様ご協力を宜しくお願いいたします。



本日ご参加いただいた皆様です。

2024.4.20



春のクリーンアップ 第二会場報告者：分部 光春

今回から、クリーンアップの各会場の責任者が代わり、新生クリーンアップが始まりました。第二会場では、青葉安心ネットさんの大沼田橋集合チームが出来て第三会場とする様です。今回は、今までと違い各会場の連携もよく、人員の配置などにも適時に対応して、第一会場に第二会場から森永乳業さんの若手の皆様にお手伝いに行っていました。この様な連携した対応が功を奏し、第二会場は、総計 49 名の方々にご協力を頂き、J:COM の取材も入りました。

これからはクリーンアップを、空堀川の意識度アップのチャンスとして、教育支援の観点からも各方面の皆様に PR して行く予定です。ご協力宜しくお願いいたします。



森永乳業さん、青葉小や大岱小の皆さん、まちかど運動の皆さん、楽しい放課後みんなの皆さん、青葉安心ネットの皆さん、そして多くのご近所の皆さまありがとうございました。

当会が取り組んでいる全方位教育支援活動 分部 光春

当会が取り組み中の、新しい教育支援活動は、夏休みの川の観察会から始まり、コロナ禍でも、野外活動として続けていたものを、青葉小の校外学習としてコラボしたことが始まりです。

以後、かわらの楽校やクリーンアップ、などの行事を教育支援の場として行ってきました。

今では、青葉小を始め、大岱小などへの出張授業などや、白梅学園保育科の保育士の卵の皆さんともガサガサ体験をしたり、三中の生徒さんや、「楽しい放課後みんな」の皆さんともクリーンアップに参加して頂き、ゴミ問題の勉強をしています。今年からは生涯学習としてご近所の方や高齢者の方の為に、川の見て歩きツアーを市の福祉バスで行っています。すべての市民の皆様に空堀川の魅力をお伝えして、美化活動や自然保護にご協力いただきたいと頑張っています。(心の中に清流を運動)

行く行くは、都の粘土張り工事などで、川の流れを取り戻せるようになっていくことを願っております。

すべての市民の皆様に向けた教育支援の活動だと思っています。

当会では教育支援活動に取り組んでいます

「NPO 法人空堀川に清流を取り戻す会」では、小学校や中学校の皆様を対象に、空堀川をフィールドとして、教育支援活動に取り組んでいます。
当会のこれまでの取り組みを紹介させて頂き、これからも皆様と共に、空堀川の自然環境学習で空堀川の魅力を、よりお伝え出来たらと思っています。

当会の出来る事を画像でご紹介



鯉のぼりフェアでかわらの楽校



学校側との事前の打合わせは十分に



かわら迄の見守りは、まちかど運動さん



当会が一番得意なガサガサで生き物観察です



ごみ問題や話題のマイクロプラスチックのお話



散歩中の保育園児さんも気軽に川のお話



短大の将来の保育士さんにガサガサ体験でお勉強



カメさん一座は色々なイベントで大人気



クリーンアップはゴミ捨て防止のお勉強



駅前でポイ捨て禁止の啓発活動

大岱小学校 野鳥観察

奥田 哲

令和6年1月22日(月)朝8:45

今日は大岱小の皆さんと、かわらの野鳥観察会です。

大岱小学校の校庭にて簡単な朝礼の後、冬晴れのもと約200メートル先の空堀川添いの広場に、当時の3年生3クラス約90名を引き連れて、野鳥観察の為に移動。

途中、丸山橋の上で空堀川河川内の防災ピットの説明や、川原のセキレイなどの観察をしながら周囲の交通に気をつけて移動。子供たちの野外授業では交通安全に注意する事が一番大事です。

野外学習の支援では行き帰りの交通安全が一番大事です。安全監視には気を使います。



鯉のぼりフェアで作った巣箱を3つ設置しました。
さてさてどんな鳥さんが入るかな？



3月21日の野鳥観察会の日、何とシジュウカラさんが巣箱に入ったではありませんか!!ビックリです。

広場では当会の担当者からそれぞれ地元の川の野鳥や植物、それと今問題のマイクロプラスチックやゴミ捨て問題までお話しして、3年生のみなさんには野外学習を「大いに遊んで楽しく学んで」もらいました。

この一連の学習支援は3月まで延べ5回ほど行われ、3/21(木)の最終回には生徒さんの手書きの感謝状を頂戴しまして、会員一同大感激、ありがとうございました。



最後に子供たちからお礼のお手紙いただいて!!会員一同、感謝感謝で良かった良かった♪

青葉小学習支援活動

島崎よう子

いま、学校では“地域でつながる実践”に取り組んでいるようで、当会は3年前から、青葉小学校の学習支援に関わっています。昨年は、2年生だけでなく3年生6年生へと広がりました。

がたろう通信第116号に、2年生の担任だった霜村先生が「からぼり川であそぶ」の寄稿してくださいました。青葉小が、なぜ子どもたちを空堀川で遊ぶ体験をさせているのか、どのような思いで先生が取り組んでいるのかが、よくわかる内容でした。

「人々の無関心が、空堀川をはじめとする「川の死」を生んだのだから、様々な場面で「関心を持つ」機会を創らねばならない。子供たちは「あそぶ」体験をすることに意味があると考えます。川の歴史や課題など先々の学びの課題となるでしょうから。この川を甦らせようとする人たちがいることを知っておくことなど、子どもたちを「SDG's」の実践に気づかせる点で必要だと考えるからです。」という趣旨が書かれています。

私たちの素朴な思いを理論づけていただき、とても嬉しい。「空堀川は自然の宝庫だ!」、と言って下さった先生もいます。この宝庫を使ってさらに東村山市内の学校へ広がることを願っています。



《教育支援活動 メニュー表》

①	空堀川で野外活動（フィールド観察）のお手伝い
②	空堀川でガサガサでお魚の観察
③	空堀川で外来生物のお勉強
④	空堀川で鳥の生態観察のお手伝い
⑤	空堀川で川の歴史（粘土張り工事など）のお話
⑥	空堀川での美化活動（クリーンアップ）のお手伝い
⑦	各種出張講座お受けします。 （自然のお話、マイクロプラスチック、SDG'sのお話）

東村山第三中と 空堀川源流探索

平田 健一



2024年4月2日（火）に東村山市立第三中の先生2名・生徒さん6名と会員3名で、空堀川の源流を探索しました。川の見て歩きの企画とコラボして、第三中自然探求部の春休み中の部活動を支援したものです。久米川駅北口に集合。まちかど運動実行員会に手配して頂いた市の福祉バスに同乗しました。

○**高木橋** 東京都北多摩北部建設事務所の担当者や現場の監督さんに工事の説明を受けました。

早く粘土張り工事が完成して、瀬切れの無い空堀川になってもらいたいと皆さん口々に言っておられました。

○**新庚申橋** 新河岸川流域地図を渡して空堀川の範囲と空堀川～柳瀬川～新河岸川～隅田川（荒川）と流れて東京湾に注ぐことを説明。空堀川は、河川改修で東大和市内では幅16mになり洪水が起きにくくなった。粘土ばりは高木橋付近だけでなく全部で1km以上粘土ばりをしているので、河床から水が抜けるのを防ぐ効果が期待されます。



○**旧庚申橋から遊歩道へ**。旧川は幅が10mもなかったこと、この下にボックスカルバートがありそこに空堀川の南側からの雨水を流すようになっていることを説明。遊歩道の脇にタンポポが咲いていた。理科の先生にカントウタンポポ、外来の西洋タンポポとの違い、雑種もあることを説明していただく。

○**東 芝中橋** 右岸から、森永乳業からの高度浄化された工場排水が流入しているところを見る。1日で約4000～5000m³の水が出ている。高度浄化は、通常の活性汚泥法の後に砂濾過、オゾン注入をしていることを説明。中学生たちは、水の量とこの上流には水が無いことにびっくり。これだけ水が出ているのに東村山では何故水が少ないのだろうと言っていました。

○**芝中調節池跡**で東大和市内最大の親水公園となる工事現場を見学。ここは、桜～さつき～ハナミズキが咲きとてもきれいな場所。以前は、ここに調節容量22,000 m³の調節池があり、洪水時には雨水を貯め、雨がやんでからポンプで排水していた。

○**五中橋** 生徒さんたちは橋の名前に東大和市第五中の名がついていることに感激していた。

○**下立野こども林間広場（雑木林）の隣の空き地**で休憩・水分補給。オオイヌノフグリなどが咲いていた。この辺りで多分ミシシippアカミミガメらしい20cmくらいのカメがいた。元は縁日などで売られていたミドリガメで、外来種なので川に放流してはいけないことを説明。

○**武蔵村山市** 神明橋上流の河道内調節池の仕組みを説明。用地が確保できた所に調節池を作り、洪水時に水を貯め、下流の水位が下がってからポンプで流して、洪水の被害を軽減している。

○**空堀川一級河川始点**を見る。ここまでが東京都が管理している区間で、これから上流は武蔵村山市が管理している水路であることを説明。

○**武蔵村山市歴史民俗資料館**で羽村武蔵村山軽便鉄道のレールの一部や機関車・車庫のパネルを見学。軽便鉄道は、羽村から多摩湖・狭山湖の工事に使う砂利や粘土を運んだ。レールの軌間は600mmで、こんなに小さかったのですかとビックリ。

○**源流、カタクリ・ミズバショウの花、学校田**を見学。今年は3月に雨が多く、例年より源流付近の水量が多かった。

生徒さんも、空堀川は普段は水が流れていない区間が長かったことを感じていました。

これまでの経過と今後の予定

(2024 年 2 月 5 日～5 月末)

- ◎2/5 空堀川・川まつり実行委員会
- ◎2/8 空堀川・小彼岸桜剪定作業(当会のみ)
- ◎2/8 日比谷アメニスと協議
- ◎2/10 第 295 回 空堀川定例会議
- ◎2/16 大岱小学校の研究発表会参加
- ◎2/28 子どもの水辺 空堀川 B ゾーン樹木剪定作業
- ◎3/2 第 296 回 空堀川定例会議
- ◎3/4 子どもの水辺 河川内樹木剪定作業
C ゾーン(馬頭橋下流右岸)
- ◎3/6 青葉小学校未来プロジェクト参加
- ◎3/9 第 4 回理事会開催
- ◎3/14 青葉小学校 3 年生発表会「お宝探検隊」
- ◎3/18 青葉小学校 6 年生卒業作品発表会参加
- ◎3/28 空堀川・定款の修正について
都庁担当者と協議
- ◎4/2 空堀川工事見学・空堀川源流探索
第 3 中学校と当会とまちかど運動の会員
とのコラボ、市福祉バスにて探索
- ◎4/6 子どもの水辺 河川内樹木剪定作業
D ゾーン、E ゾーン
- ◎4/9 第 1 回理事会開催
- ◎4/13 第 297 回 空堀川定例会議
- ◎4/13 事前 CU (西武新宿線陸橋～なかよし橋間)、看板作成取り付け
- ◎4/20 第 54 回空堀川クリーンアップ
第 2 会場において J COM の取材あり
- ◎4/21 第 2 回理事会開催
- ◎4/26 鯉のぼり掲揚 空堀川からぼり広場
- ◎4/29 2023 年度監査
- ◎5/2 総会資料印刷・送付
鯉のぼりフェア準備作業
- ◎5/ 3, 5 鯉のぼりフェア開催
- ◎5/8 鯉のぼり片付け
- ◎5/11 2023(令和5)年度第 25 回定期総会
第 298 回 空堀川定例会
- 5/25 がたらう通信第 117 号の発行
- 5/26 ベニカナメ刈込作業

会員募集

NP0 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加してくださる方を募っています。NP0 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合：入会金 2000 円
年会費 2000 円
団体・法人の場合：入会金 一口 10000 円
年会費 一口 10000 円
賛助会員(入会金不要)：個人年会費 2000 円
団体・法人年会費 10000 円

◎会費振込先：郵便振替

口座名：がたらう
口座番号：00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市青葉町 2-24-59

垂水 (たるみ)

TEL：090-8050-5662

井戸蓋を弾き伸ぶるや今年竹	化粧塩鮎の尻尾のそり返る	雨蛙せせらぎ被ふ草の丈	棄て畑へ残る一本柿若葉	鬼平と差しつ差されつ冷奴	山小屋の主の秘密岩鏡	黒々と麦茶煮立てて一仕事	筍を目秤で売る農の家
あやとり句会	喜和	陽	澄	案山子	雑木林	真	緑
							紀子

編集後記

小川 恭子

2018 年にこの会にご縁をいただいてから、編集作業に関わらせていております。個性豊かなガタロウさんたちの愛と情熱のこもった原稿をいただき、形に現わしていくのは、とても楽しい作業です。

今回は、教育支援を中心のご報告でしたが、溢れる思いを載せきれなかったことがとても残念でなりません。

読売新聞に取り上げられるほど、東村山を賑わした鯉のぼりフェアの報告は、次号をお楽しみに！

小さなお子さんをお連れの祭は、着替えとタオルをお忘れなく！！我が家の孫娘は楽しみ過ぎて、毎回ビジョビジョです。

からぼり川

がたろう通信

第 118 号

2024 年 7 月 27 日
発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者 : 垂水 荘司 TEL 090-8050-5662 東村山市青葉町 2-24-59

ホームページ



ブログ



2023(令和 5)年度定期総会を終えて

垂水 荘司

5 月 11 日(土) 2023 年度の第 25 回定期総会を終えました。今回は対面での開催で出席者は 9 名、委任状提出者 18 名合計 27 名となり、定足数 39 名の 1/2 以上をクリアしており、総会は成立しました。審議に入る前に昨年 5 月初代理事長の小林寛治様と今年 3 月に逝去された会員の高橋成徳様にそれぞれご冥福を祈り黙祷を捧げました。

以下についてそれぞれ審議しました。

- 1) 第 1 号議案 2023(令和 5)年度事業報告及び決算書報告の承認を求める件
→特に問題なく承認された
- 2) 第 2 号議案 2023(令和 5)年度監査を求める件
→本件の内容について特に問題は有りませんでした。監事から理事会の回数が少ない、又理事会の審議決定内容を報告するむね指摘された。理事会の開催は年 4 回程度開催しており、議事録も発行しております。但し定例会前の理事打ち合わせ内容は、定例会に反映させておりますが、今後は理事打ち合わせ内容も議事録を発行します。
- 3) 第 3 号議案 2024(令和 6)年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認を求める件
→新年度(2024 年)受託事業は昨年度(2024 年 3 月 31 日)で終了しました。
- 4) 第 4 号議案 定款変更の承認を求める件
→定款第 5 条(5)河川敷の維持管理事項は活かすのか、との質問があり将来的に事業を行うことも考慮し、当初の定款どおり残す事とした。
- 5) 第 5 号議案 その他
→理事長談

川まつりの件について 昨年度、2 月 5 日に東村山市市役所内で実行委員会が開催され、内容について以下の様に取り諮られた。例年は 5 月末に行われていたが、今回は 5 月末には行わず、9 月に改めて今後の方針を決める会議を行う。当会としては 9 月の会議以前に、川まつりの実施の方向性について、会の方針を決める事が望まれます。数年、コロナ禍で中止されていた川まつりに変わり実施してきた「鯉のぼりフェア」は 5 月 3 日、5 日に実施してきましたが、今後も川まつりとは別のイベントとして引き続き実施していきたい。

コロナ前の川まつり



第三回 鯉のぼりフェア

原田 秀二

今年は4月26日から5月7日まで鯉のぼりを掲揚しましょうと決め、準備を進めました。

いざ鯉のぼりを出してみると口金の傷んでいるもの、紐の切れそうなもの、鯉のお腹が裂けていたりと大変な様子です。

それでも都営美住町住宅自治会さん了承のもと非常階段を利用して頂き、対岸のポールまでロープを張り大型の鯉のぼりはこのロープに、こどもの広場両端にあるワイヤーロープにも鯉のぼりを取り付け、準備は完了いたしました。但しロープやワイヤーに固定された取り付け金具も大分傷んでおり交換の時期が近いと感じました。



本番は5月3日と5日に快晴のもと、多くの市民の参加を得て開催されました。

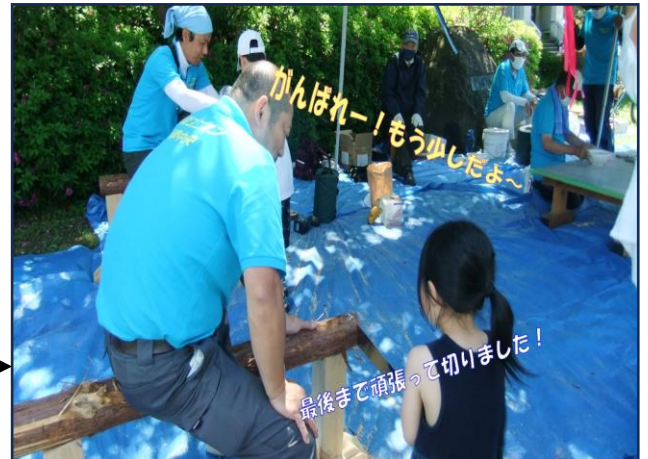
広場の一角にはキッチンカーの出店もあり賑わいに花を添えて頂きました。

5日には、フリーマーケットも開催されました。



また建設ユニオンさんでは丸太切り、木製コースター作り体験や、自治会消防隊の皆様のもと消火ホースの取り扱いの大変さを実感して頂き、当会でも会員が手作りした竹製水鉄砲、ササ舟流しや、川の生き物調査を兼ねたガサガサや投網を体験しました。

建設ユニオンさんの丸太切り、コースター作り体験



自治会消防隊の協力によるワクワク放水体験



ガサガサ体験で、何が取れたかな？



小さなお子さんは、水圧にびっくり！

大人気だったのは例年通り、所沢のカヌー専門家 I さんによる、安全レクチャーをうけてからのカヌー体験教室です。

浅い川とはいえ安全のためライフジャケットを着用し、スポーツ店の方のレクチャーを受けてから幼い子供は親御さんと同乗し、パドルを扱えるお子さんは一人で果敢に挑戦していました。この様に喜ぶ我が子様子を撮影しようと親御さんも張り切って右往左往です。

大人気のカヌー体験！



大盛況で渋滞も始まりました



どうもうまく進めないな〜 (-_-;)

両日とも天候に恵まれ、怪我もなく無事に終了できた事は、会員の皆様の努力や参加して頂いた市民の皆様のご協力と感謝する次第です。

空堀川の水質・水量調査に 三中生も来てくれました！

平田 健一

身近な水環境の全国一斉調査の一環として、空堀川の東村山市内 6 ヶ所+1 カ所で水質・水量の調査を行いました。今回は、久しぶりに東村山市立第三中学校の生徒 11 人、先生 2 人と保護者 2 人も浄水橋と上橋に参加してもらいました。生徒さんにも透視度、流速の測定をやってもらいました。



調査方法

動画はこちら♪ ⇒

2024 年 6 月 2 日（日）9:00～12:15 三中の方々と当会会員 6 名で行いました。皆さん、お疲れさまでした。調査地点は、浄水橋・東大和市境の上橋・ふれあい橋・御成橋・野行橋・清瀬市境の大沼田橋間約 6km と御成橋の JR 武蔵野線の湧水です。pH, COD, NO₂-N, NH₄-N はパックテストで行いました。

調査結果

今回は昨年が続いて市内 6 ヶ所全部に水が流れていました。いつもこうあって欲しいですね。前々日に 27mm、当日早朝に 11mm の雨が降ったためです。全ての箇所の測定値は以下のとおりです。

測定地点名	上橋下	浄水橋	ふれあい橋	御成橋付近	御成橋付近JR武蔵野線湧水	野行橋	大沼田橋下
気温【℃】	19.2	24.0	21.9	22.6	22.6	21.8	21.6
採水時水温【℃】	20.2	22.5	21.5	21.4	20.2	21.9	22.3
COD1回目	2	4	4	2	2	4	4
COD2回目	2	4	4	4	2	4	4
COD3回目	4	4	4	4	2	4	4
COD【mg/L】	2.7	4.0	4.0	3.3	2.0	4.0	4.0
pH	8.5	9.0	8.5	8.5	8.0	8.5	8.5
EC【μS/cm】	323	197	231	288	256	232	210
NO ₂ -N【mg/L】	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005
NH ₄ -N【mg/L】	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
透視度：平均値【cm】	21.3	12.5	11.5	30	測定せず	46	43
流速【m/sec】	0.754	0.388	0.260	0.182		0.269	0.613
流れ幅【m】	2.15	3.8	7.4	7		5.1	6.2
平均水深【m】	0.137	0.183	0.083	0.147		0.1	0.0767
水量【m ³ /sec】	0.222	0.270	0.160	0.187	測定できず	0.137	0.292
ごみ調査範囲【m】	20	20	20	20		20	20
飲料ペットボトル	0	2	0	4		0	0
レジ袋	1	1	0	2		4	1
カップ型飲料容器	0	0	0	3		0	0

- ・流量は、いつもの 2 倍くらいで、流速は場所により 0.18～0.75m/s とかなり異なりました。
- ・水温は、20.2～22.5℃でいつもよりちょっと低かった。気温より高い年もあります。
- ・pH は、例年は全部 9 以上のアルカリ性ですが、8.5～9.0 ですこし低かったです。
- ・EC は、電気伝導率でイオンの多少を示します。いつも 1000 μS/cm を超えていたのですが、今年は低く 197～323 μS/cm でした。水量が多いためと思われます。
- ・COD は、上橋と御成橋がやや低くその他は 4 でした。雨で川底のヘドロが巻き上げられた為と思われます。
- ・透視度は、雨の影響で濁っていて上流側がやや低く 11.5～46cm でした。いつもは 100cm 以上

まとめ

今年は、中学生が参加されて、透視度計など興味津々でした。上橋では、桑の実がなっていてはじめて食べて甘いとビックリしていました。ゴミは、前々日の雨で流されたか少なかったです。

集合写真



上橋

流速測定



上橋 桑の実



浄水橋 透視度測定（生徒）



浄水橋 透視度測定（保護者）



御成橋 透視度測定



野行橋 水温測定



大沼田橋の水の流れ いつもは水がありません



子どもの水辺 河道内樹木の管理作業

(第2次) 報告

荒川 昭彦

少々遅くなりましたが、前々号(116号)に引き続き、2023年12月～2024年3月までに実施した子どもの水辺樹木管理作業について以下の通り報告します。

① 第3回作業は、2023年12月14日(9時～12時)、会員5名の参加を得て、からぼり広場(浄水橋～第二砂川橋)左岸の樹木3株(クワ小株2, 柿の木1)の剪定・整備を行った。なお、今回の作業において会員0さんが転倒により怪我する事故があったが、大事に至らず、不幸中の幸いでした。本作業の最も重視すべきは安全第一であることを再喚起し、作業前の安全確認の徹底や参加者の体力からして無理な作業の回避等の措置を取るよう反省した。

② 第4回作業は、2024年1月18日(9時～12時)、会員6名の参加を得て、浄水橋上流左岸のクワの木2株の剪定・伐採・株立ちの整理等を行った。作業にチェーンソーを使用するに当たり、友保顧問によるチェーンソーの講習が行われた。

③ 第5回作業は、2024年2月8日(9時～12時)、会員6名の参加を得て、馬頭橋下流右岸の管理道路に植えられている小彼岸桜21本中10本の高木の密集した枝の切り詰め(強風による倒木を防ぐため)を行った。

なお、今回小彼岸桜の管理の協同メンバーである「東村山市小彼岸桜の会」からの参加が無かったのは残念であり、当会も会員の高齢化の課題もあるため、今後の小彼岸桜の維持管理の在り方について、件の会と協議し詰める必要があると思います。



④ 第6回作業は、2024年2月28日(9時～13時)、会員5名の参加を得て、馬頭橋下流左岸のクワの木4株とやなぎ1本の剪定・伐採を行った。

なお、今回このエリアの数本の木に鳥の巣箱を設置したところ、後日この巣箱に出入りする小鳥を見掛けたとの嬉しい報告がありました。

⑤ 第7回作業は、2024年3月4日(9時～12時)、会員4名の参加を得て、馬頭橋下流右岸のクワの木4株の枝の切り詰め、水際に垂れた木の剪定を行った。

⑥ 第8回(最終回)作業は、当初3月27日に予定したが、天候不順により3回も延期を強いられ2024年4月6日(9時～12時)に行われた。会員6名の参加を得て、馬頭橋下流右岸のクワの木2株、イボタノキ1株の剪定、ヒコバエの整理を行った。



ご覧ください! 第8回(最終)作業の動画



以上2023年度の「子どもの水辺 河道内樹木の管理作業」は8回に亘り行われ、延べ参加会員数は42人でした。お陰様で、子供たちの遊び・学習の場であり、市民の散策憩いの場でもある「子どもの水辺」区域の緑豊かな美しい環境を維持することができました。

なお申し遅れましたが、毎回大量の剪定・伐採した枝葉の収集搬送の労を引き受けていただいた北北建の関係者の皆様に衷心より感謝を申し上げます。

【追稿】 堆肥置き場の生垣剪定作業の報告

浄水橋上流左岸に在る「堆肥置き場」は当会が保有し、その維持管理は当会の重要な任務となっています。

5月26日（日）に同施設の壁周囲に植えられたベニカナメモチの生垣の剪定作業実施についての原田リーダーの呼び掛けに、片山会員と小生が参加しました。10時にユリノキ広場の倉庫前に集合し、原田リーダーから作業の段取りと役割分担の説明を受け、当日使用する用具を自転車に載せて作業場所へ移動し、早速作業を開始しました。

原田リーダーが手慣れたトリマーでの剪定を担当し、切り落とされた枝葉の収集収納を二人で行い、途中水分補給の休憩を取りながら一時間余りで順調に作業が完了し、ベニカナメモチの生垣が綺麗に整備されました。

使用した用具の倉庫に戻す最後の締めを済ませ、予定通り12時に解散しました。



ご冥福をお祈り申し上げます

3月に会員の高橋成徳さん、6月に会員の宮崎久仁男さん、当会は立て続けに二人の有能な会員を見送りました。

高橋成徳さん、シルバー植木班のベテランで当会の公園維持管理や河道内樹木の手入れ作業に主導的な役割を果たしていただきました。

宮崎久仁男さん、その卓越したアイディアと実行力で当会の主要なイベントを成功に導き、大いに盛り上げていただきました。

お二人の共通点は【出来ない】という言葉が無いことでした。共に抜群の知恵と行動力で当会の活動を支えていただきました。
お二人の遺志をついで会員一同精進しますので温かく見守ってください。

元理事長 友保邦弘

これまでの経過と今後の予定

(2024 年 4/2～8/末)

- ◎4/2 空堀川工事見学・空堀川源流探索
- ◎4/2 高橋成徳さん御葬儀参列
- ◎4/6 子どもの水辺 河川内樹木剪定作業
Dゾーン、Eゾーン
- ◎4/9 第1回理事会開催
- ◎4/13 第297回空堀川定例会議
- ◎4/13 事前 CU(西武新宿線陸橋～なかよし橋間)及び看板作成取り付け
- ◎4/20 第54回空堀川クリーンアップ
第2会場においてJCOMの取材あり
- ◎4/21 第2回理事会開催
- ◎4/26 鯉のぼり掲揚
- ◎4/29 2023年度会計監査
- ◎5/2 総会資料印刷・送付
鯉のぼりフェア準備作業
- ◎5/3, 5 鯉のぼりフェア開催
- ◎5/7 エコライフフェア打合せ
- ◎5/8 鯉のぼり片付け
- ◎5/11 2023(令和5)年度第25回定期総会
第298回 空堀川定例会議
- ◎5/25 がたろう通信第117号発行
- ◎5/26 ベニカナメ刈り込み作業
- ◎5/29 エコライフフェア打合せ
- ◎6/02 身近な水環境の全国一斉調査
上橋～大沼田橋7箇所 第三中学校参加
- ◎6/08 第299回 空堀川定例会議
- ◎6/1 久米川東小学校 教育支援打合せ
- ◎6/15 空堀川樹木整備調査 北々建依頼事項
新空堀橋～秋津南橋間
- ◎6/24 久米川東小学校 教育支援
空堀川御成橋にて生き物調査等
- ◎6/25 エコライフフェア打合せ
- ◎6/25 宮崎久仁男さん御通夜参列
- ◎6/28 第4回流域連絡会
- ◎6/29 故土橋さん、清水さん記念植樹
ユリの木広場に紫陽花他植樹
- ◎7/7 宮崎久仁男さんを偲ぶ会開催
- ◎7/11 エコライフフェア打合せ
- ◎7/12 がたろう通信118号編集会議
- ◎7/13 第300回 空堀川定例会議
- ◎7/27 がたろう通信第118号の発行
- ◎7/29 第三中学校と 空堀川で生き物調査!
- ◎8/17 あおば夏祭り会場草刈り

会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加してくださる方を募っています。NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000 円
年会費 2000 円

団体・法人の場合 : 入会金 一口 10000 円
年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要) : 個人年会費 2000 円

キッズ会員 : 入会金・年会費 免除

◎会費振込先 : 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市青葉町 2-24-59

垂水 (たるみ)

TEL : 090-8050-5662

夏川に片足立ちの鳥一羽
子に交じり足浸したり夏の川
スターマイン川面を飾り果てにけり
手入れ良き岸辺の花壇花カンナ
川音に躓きてをり半夏雨
磧辺にサンゲル残る夜半の夏
幼な声跳ねて水飛ぶ日の盛り
網戸越し夜明けの風の清々し
暮るる川笹舟追うて夏みかん

あやとり句会

喜和 桂草 早翠 紀子 陽 澄 案山子 雑木林 緑

編集後記

小川 恭子

今回は、あやとり句会の仲間が増えましたね。いつも素敵な俳句をありがとうございます。

あちらこちらに動画のQRコードもあります!

そして、この場を借りて、秋の行事の告知をさせていただきます。お楽しみに♪

〇10月20日(日) エコライフフェア

〇11月16日(土)

秋の空堀川クリーンアップだよ!

からぼり川

がたろう通信

第 119 号

2024 年 10 月 26 日
発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者 : 垂水 荘司 TEL 090-8050-5662 東村山市青葉町 2-24-59

ホームページ



ブログ



地域貢献（あおば夏まつり会場整備）

垂水 荘司

2024 年 8 月 24 日、25 日、東村山市青葉町下堀広苑で第 51 回青葉夏まつり大会が実施された。コロナ禍で 2 年間中止されていたが、昨年に引き続き夏まつりが開催された。当会も例年の如く青葉夏まつり実行委員会の意向に添って、事前（8 月 17 日）に会場整備の一端として、祭りの会場となる下堀広苑の除草を担当した。除草範囲は盆踊り会場の一部と、道路を挟んで大きな桜の木側の低地部分がメインでした。ここはほとんど駐輪場としていたようですが、祭りの当日は若者の憩いの場でもあったようだ。

会場整備には当会会員が用意した自動除草機と手動除草機での作業となりましたが、昨年まで 6 月と 10 月に実施していた除草作業は範囲も広く、参加人数も多かった。今回は作業範囲を低地の除草に限定し、少人数で効率を上げての作業であった。当初の予定では除草した草は即ビニール袋に詰めて処理する事で、夏祭り準備委員の数名と作業手順を協議したが、前日からの雨で露草となり処理する為には草の量と重量が嵩む事を考慮して、ある程度乾燥状態にしてから処理することにした。結果として夏まつり実行委員の方に後日処理をお願いして除草作業は終了した。ちなみに昨年は刈草の乾燥状態は良く夏祭り実行委員会で用意されたビニール袋（450）に詰めてまつり終了後に実行委員会で処理された。

今年から例年実施してきた日比谷アメニスからの委託作業は中止した事で、除草作業は無くなった。次年度からは除草作業の実施有無について課題が残る協議する事になる。

丁度あおば夏まつり大会実行委員の方々も、1 週間後に迫ったまつり会場設営の準備中でしたが、当会にも飲料水などを配っていただき真夏の暑い最中の作業に大変有り難かった。又、今回はあおば夏まつり大会実行委員会より、会場整備作業で使った燃料代金等をいただき、お礼を申しあげます。あおば夏祭りも 24 日と 25 日の 2 日間、多少の天候の崩れはありましたが無事終了された事に安堵した。

おまけの写真大公開！

外来種:オオオナモミ 通称:ヒツキムシ



カヌービオトープとプランター花壇

原田 秀二

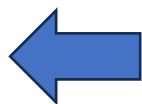
8月中旬にカヌービオトープ前を通ると、すでにブルーシートの上に大型プランター3個分の土を広げ、日光消毒がされていました。

話を聞くと8月5日にTさん一人でブルーシートに培養土を広げ、古い花と根の除去や古土の天日干しをされたとの事でした。

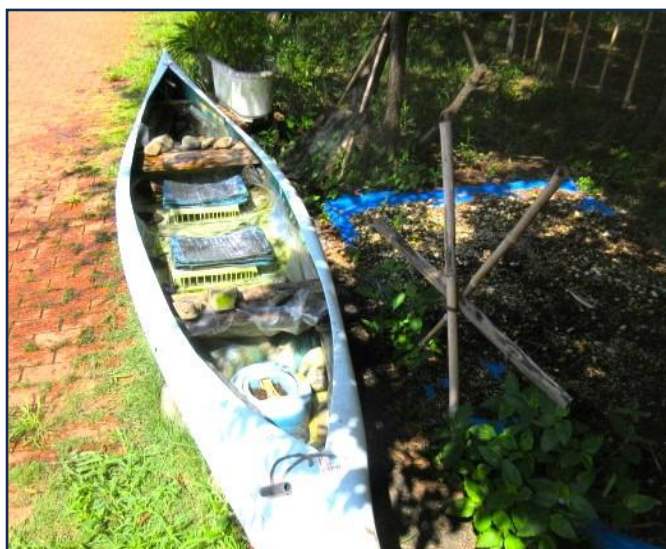
花苗を植え付ける時は、お手伝いする旨をメールで伝えました。



天日干しされた培養土！



カヌービオトープ・花壇の手入れ動画



カヌー内も綺麗に清掃しました。

その後、曇りや豪雨を交えた雨が続き様子を見に行けませんでした。続いていた豪雨のためブルーシートに広げた培養土が流出し、少なくなってしまい培養土も買い、植え付け準備をしました。

晴れの日が戻り、様子を見に行くと、9月4日に友Tさん、Kさんとカヌー内の漏水防止ビニールシート内のメダカを保護したうえでシートに付着したコケや汚れを洗い流し、カヌー内清掃後、水を汲み入れ保護メダカを戻してありました。ただ日陰がなく早めにプランターで日陰を作ってあげねばと思いました。

友保さんに植え付け日を相談したところ「体調が悪いので…」と植栽は任せられ、9月11日に花苗ポットを「綿半」で十数個購入、空のプランターに干してあった培養土を振るい掛けし、用土に水をたっぷり含ませ準備を終えました。



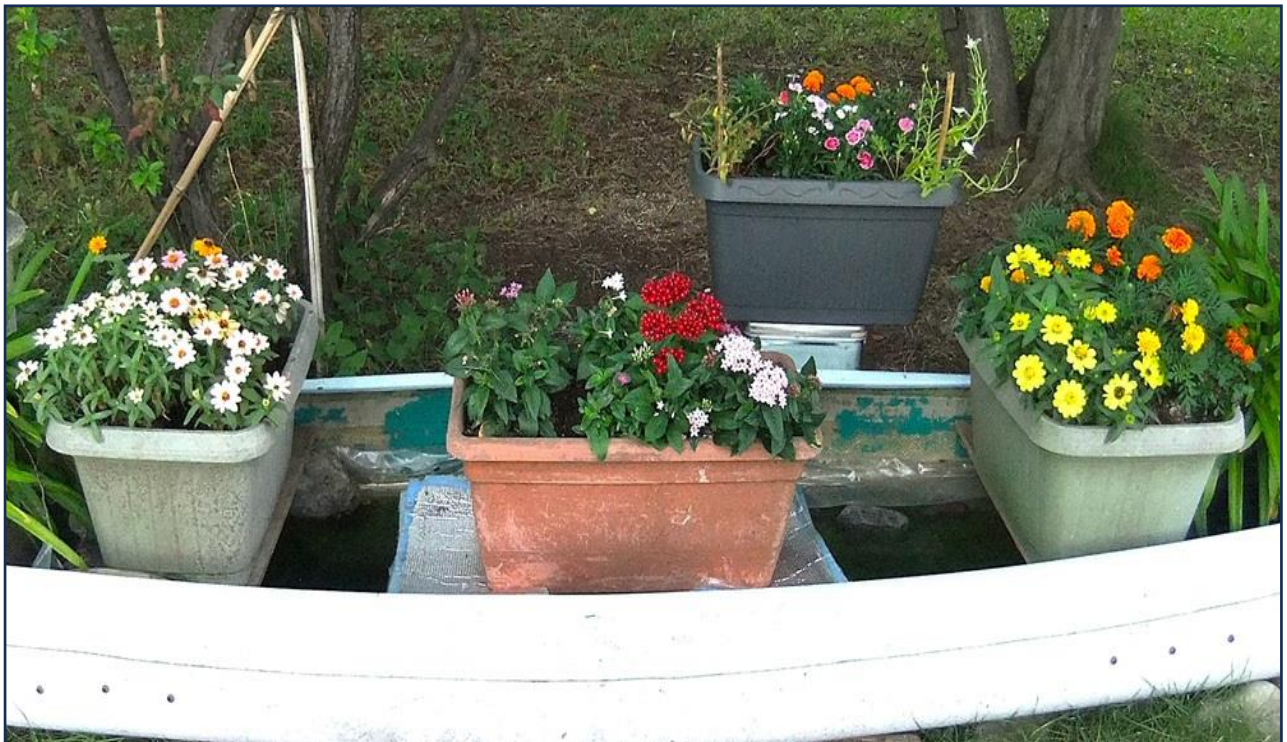
翌日 9 月 12 日に猛暑と言う事もあり、8:30 から K さん、A さんに応援を頼み植え付けを済ませました。私は体力も衰え大型プランターをカヌーの上に一人で持ち上げられず、お二人のお力を借りる体たらくでした。



約 1 時間で作業終了！ 猛暑回避しました。

数日後、用事で「シマホ」に行き、ついでに花苗を見たら値引き品が在ったのでプランターと一緒に 3 種、8 ポットを格安に購入でき、カヌー周りがにぎやかになりました。

※猛暑のために、各お店は「花苗の管理が大変です！」と音を上げていました。



1 プランター追加して完成！！

東村山市第三中学校生徒さんと 生き物調査をしました！

平田 健一

夏休みを利用して、空堀川「子どもの水辺」をフィールドにした生き物調査を以下のように行いました。

○日時 2024年7月29日（月）9時～10時30分 36℃の猛暑日の予報だったので時間短縮

○行ったこと

空堀川子どもの水辺の説明、タモ網で魚や水生生物を捕獲して、種類別に数え記録する。

○参加者 生徒12名、先生2名、当会会員4名

○使用した資機材

タモ網、バケツ類、記録用紙、筆記具、飲み物（各自）

○タイムスケジュール

9:00 ユリノキ広場 当会倉庫前に集合、記名（行事保険対応）

9:00～9:10 あいさつ、実施内容の説明

10:00～10:30 浄水橋付近でタモ網を使ってガサガサ

10:00～10:30 集計、記録

10:30～10:40 あいさつ、振り返り、解散

○調査結果

透視度 数cm いつもは100cm以上見える。上流の工事のせいか、水が濁っていて生き物の姿が見えなく、採取できた生き物の種類・数は少なかった。いつもは、オイカワ、モツゴ、トジョウ、ヤゴがいます。

生き物の種類	数	体長(cm)
オイカワかモツゴの稚魚（小さくて判別できない）	4	1～2
メダカの稚魚？	2	1
ヌマエビ	12	2
アメンボ	捕獲せず	4

猛暑だったので時間を短縮して、熱中症になった人はいなかった。

次回、また計画したい。

集合写真



ガサガサ開始



2024 夏の思い出 空堀川の草花日記



7月2日 ノカンゾウ



7月29日 マツヨイグサ



9月3日 タマスダレ



9月3日 キバナタマスダレ



9月13日 センニンソウ



9月15日 キクイモ



9月20日 アメリカ朝顔



9月20日 テイカカズラ



9月20日 ヌスビトハギ



9月20日 ノビル



9月20日 ハルシャギク



9月20日 マルバルコウソウ

写真提供：原田秀二

川のはなし

7. 川に関することば

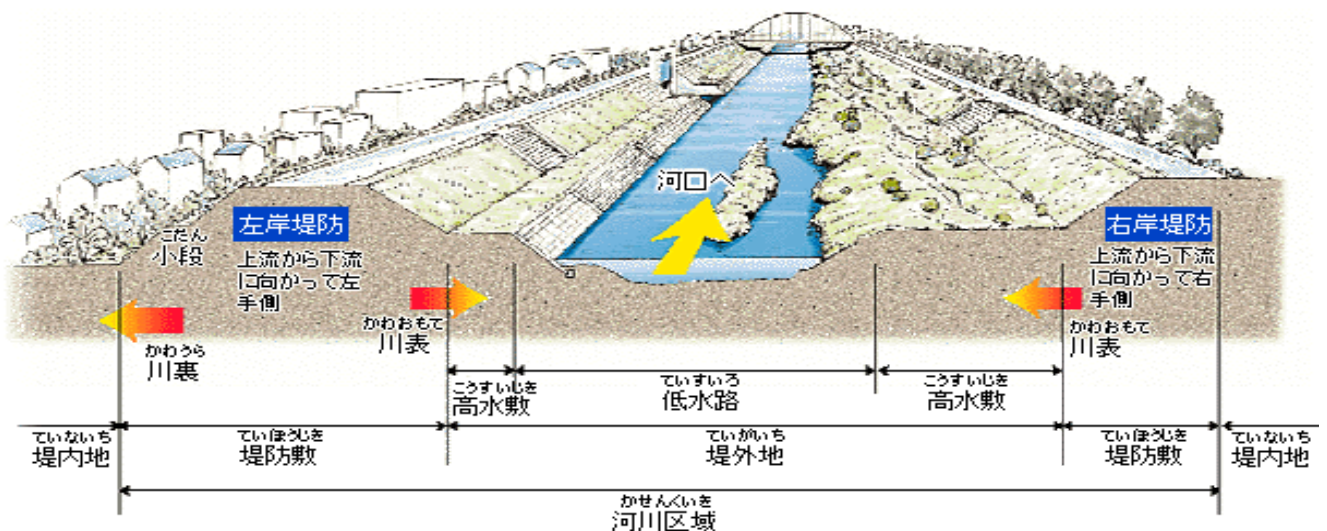
平田 健一

川のはなしを、しばらく載せていませんでしたので、改めて今回は川に関することばを説明します。

<河川の部分のなまえ>

川幅：川幅とは、その名のとおり川の幅ですが、以下の絵の様にどこまで考えるかで違います。

普通、堤外地の幅を川幅といっています。河川用地の幅は、河川区域までです。空堀川の東村山区間では、堤外地の幅は 24m、河川区域の幅は 34m です。堤防の上には、管理通路を設けます。



堤内地・堤外地：堤内地は、人が住んでいる側の土地です。堤防で守られた内側という意味です。堤外地は、いわゆる川の部分です。

河川敷：図の堤外地に護岸の天端までの範囲を足したものです。空堀川の場合は 26m。

河川区域：河川敷に管理通路を含みます。下堀公苑やからぼり広場のような旧川が流れていた場所も含み、河川管理者が管理します。

管理通路：管理通路は、川の管理用の通路です。道路法の道路ではありません。そこで、常時はバイクや自動車の通行をさせないようにしています。部分的には、兼用しています。

水深：計画高水位 (HWL High Water Level)、余裕高

計画高水位は、河川計画で考慮する最高の水位です。余裕高は、川の大きさにより 0.6m～2.0m です。空堀川のように計画洪水量が 200m³/s 以下の川は、0.6m です。カーブの部分では遠心力で外側の水位が上がることで、洪水時には波が立つため、余裕高を考慮して設計します。



単断面・複断面：川の設計上の呼び名で、川底が平らなものが単断面です。複断面は中央部に更に低い部分（低水路）がある形です。空堀川は、現状では単断面の設計ですが、中央部が水流で削られて複断面になっています。水量の変化が多いとそうなります。普段は、低水路（低いところ）だけを水が流れます。

右岸・左岸：右岸は、水の流れる方向に向いて右手です。左手が左岸です。

＜川の分類＞

流域・流域面積：雨がその川に流れ込む範囲を流域と言います。その面積が流域面積です。

水系：同じ流域内にある本川・支川・水路・湖・沼を含めて、水系と呼びます。空堀川流域は、荒川水系です。

本川・支川：例えば、空堀川流域に降った雨は、空堀川→柳瀬川→新河岸川→荒川（隅田川）をたどって東京湾に流れて行きます。荒川が本川で、その他は支川です。荒川からみて、一次支川が新河岸川で二次支川が柳瀬川になります。空堀川は、三次支川です。

一級河川・二級河川・準用河川・普通河川：一級河川は、河川法という法律で決まっています。国土の保全上・国民の救済上重要な河川です。主に、2つ以上の都道府県を流れる川です。基本的に国が管理します。その支川は、国から委託されて都道府県が管理することが多いです。空堀川は、一級河川ですが荒川の支川なので東京都が管理しています。二級河川は、公共の利害に重要な川として、都道府県が管理します。千葉県には、二級河川しかありません。準用河川は、それ以外で市町村が管理して河川用の適用を受ける川です。北川は、準用河川です。前川などは、普通河川で河川法の適用を受けず水路扱いです。市町村が管理します。

＜河川構造物＞

開水路、閉水路：開水路は、水面が大気に触れている川です。大部分の川は、開水路で上流と下流の水位差で水が流れます。閉水路は、トンネルの様に上に天井がある川です。この辺では、玉川上水が残堀川の下をくぐっている所は閉水路です。閉水路の場合は、天井まで水があります。

堤防：掘込堤防・盛土堤防、土堤防・コンクリート堤防

堤防は、川の水が堤内地に流れ込まないように設けた堤です。形から掘込と盛土堤防に分けられます。堤防の天端が周りの地表面以下の場合が掘込堤防です。盛土堤防は、その逆です。土堤防とコンクリート堤防は、堤防に土かコンクリートかどちらを使うかで分けられます。空堀川の場合は、掘込堤防です。

護岸：練積み護岸、空積み護岸 護岸は、水流から堤防を守るために堤防の表面を覆うものです。練積み護岸は、石やコンクリートブロックの間にコンクリートを打ったものです。練積み護岸でも、水抜きを設けて堤内地の地下水を川に流れるようにします。空堀川は大部分これです。空積み護岸は、コンクリートを打たずに砕石を入れます。最近は、練積み護岸が多いです。

調整池（ちょうせいち）、調節池（ちょうせつち）：調整池・調節池は、洪水の時に川の水をここに流し込んで下流の氾濫を防ぐ池です。普段は水がほとんどありません。清瀬市に大きな金山調節池があります。東大和市にあった芝中調節池などは、排水ポンプがあり下流の水位が下がると排水します。

遊水地：遊水地は、調節池と機能は同じですが、普段でも水があってビオトープになっているものをいいます。利根川に渡良瀬川が合流する所には広大な渡良瀬遊水地があって、ビオトープになっており、多くの鳥・魚などの生き物が暮らしています。

放水路：放水路は、大雨の時に今までの川の水を分けて（分流）流す人工の川です。今の荒川は、昭和初期に隅田川から分流して作られた人工の川で、荒川放水路と呼ばれていました。今では、荒川放水路を荒川と呼んでいて、もとの荒川は、隅田川と呼んでいます。

これまでの経過と今後の予定

(2024 年 6/2～10/26)

- ◎6/2 身近な水環境の全国一斉調査
上橋～大沼田橋 7 箇所 第三中学校参加
- ◎6/08 第 299 回 空堀川定例会議
- ◎6/01 久米川東小学校 教育支援打ち合わせ
- ◎6/15 空堀川樹木整備調査 北々建依頼事項
新空堀橋～秋津南橋間
- ◎6/24 久米川東小学校教育支援
空堀川御成橋にて生き物調査等
- ◎6/25 エコライフフェア打合せ
- ◎6/25 宮崎久男さんお通夜参列
- ◎6/28 第 4 回流域連絡会
- ◎6/29 故土橋さん、清水さん記念植樹
ユリの木広場に紫陽花他植樹
- ◎7/07 宮崎久仁男さんを偲ぶ会開催
- ◎7/11 エコライフフェア打合せ
- ◎7/12 がたろう通信 118 号編集会議
- ◎7/13 第 300 回 空堀川定例会
- ◎7/27 がたろう通信第 118 号発行
- ◎7/29 第三中学校と空堀川で生き物調査
生徒 14 名、先生 2 名が参加
- ◎8/07 エコライフフェア実行委員会開催
- ◎8/17 あおば夏祭り会場(下堀広苑)草刈り
- ◎8/24 夏休み空堀川生き物観察会
まちかど運動主催・当会協賛
- ◎9/1 空堀広場にてカヌービオトープ
プランター鉢 土入れ替え他
- ◎9/14 第 301 回 空堀川定例会
- ◎9/24 青葉小学校 2 年生 教育支援
まちかど運動主催・当会協賛
- ◎9/2 第 10 期第 5 回柳瀬川・空堀川
流域連絡会(第 2 回現地視察会)
- ◎9/30 がたろう通信第 119 号の原稿締切り
- ◎10/12 第 302 回 空堀川定例会
- ◎10/20 エコライフフェア 8:00～15:30
- ◎10/16 「第 10 期 第5回 柳瀬川・空堀川流域
連絡会(第2回現地視察会)
- ◎10/26 がたろう通信 119 号発行



すいふよう
醉芙蓉：一日花

朝の開花時は白、
昼はピンク、
夜は赤くなる。
いい酔いっぷり♪

会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加してくださる方を募っています。NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合：入会金 2000 円
年会費 2000 円

団体・法人の場合：入会金 一口 10000 円
年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要)：個人年会費 2000 円

キッズ会員：入会金・年会費 免除

◎会費振込先：郵便振替

口座名：がたろう

口座番号：00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市青葉町 2-24-59

垂水 (たるみ)

TEL：090-8050-5662

一面に草の穂の海朝日かな
秋晴や喘ぎて辿り着く絶景
大屋根を凌ぎて柿のたわわなる
からす瓜手緑り寄すれば色変はる
色変へぬ松したがへて四脚門
にぎはひの引けし厨に秋の風
清爽の言葉のままに野菊咲く
送迎車大きく開くや銀木犀

あやとり句会

喜和 緑 桂草 紀子 陽 澄 案山子 雑木林

編集後記

小川 恭子

長く暑い夏が去り、過ごしやすくなってくると、空堀川の散歩に出かけたくになりますね。カヌービオトープ見学と秋の草花を探しに出かけよう！私は、四葉のクローバー探し名人です。

秋の行事の告知♪

〇11月16日(土)

秋の空堀川クリーンアップだよ！